

真理と摂理の働きをすべて学ぼう

「虹の掛け橋」 第 7 卷

はじめに

「第 7 卷」は、これまでに出版させていただいた「虹の掛け橋」がそれなりに普及^{ふ きゅう}してから出版したいと考えておりましたが、補足説明すべき箇所が多数見受けられましたので、書き上がったら速^{すみ}やかに出版した方が良いと判断し、出版させていただくことにしました。

ところで、私が好きな言葉（皆様にお薦^{すす}めしたい言葉）は、次の 2 つ（①と②）です。

① 「人（間）は、罪（過ち）を犯すからこそ反省して悟れるし、生き方を修正して天使（サンタさん）になれるのです。」
と。

② 「人間もそうですが動物は、優^{やさ}しい人や親切な人の前では寛^{くつろ}げる。だから、お互いに、そのような人になろう。」
です。

言うことで、①の「サンタさん」や、②の「優しくて親切な人たち」によって「虹の掛け橋」が世界中に広まり、戦争による絶滅の危機が回避^{かいひ}され、地上に平和と調和と秩序が齎^{もたら}されることを願って「第 7 卷」を書かせていただきました。

なお、「第 7 卷」は、補足説明と Q&A を中心にした構成となっております。

Q&A は、霊界の銀河霊たちからの直接質問と、読者の皆様から想念の世界に放出された質問（の念）の中で、私が拾えたものに関して、私なりの回答を書かせていただきました。

また、Q&A を一種の公案として楽しみたい方は、「皆様が第一^{たかちゃん}霊

として降誕した際、銀河霊たちから質問を受けている場面だったら何と回答しますか？」という公案と考えて、皆様なりの答えに^{たど}辿り着いた^{あと}後に、A（回答）を読んでいただければと思います。

そこで、Q（質問）の難度レベルですが、Q4 だけが五霊レベル（難問）で、他は銀河霊レベルが数日～数か月考えれば回答可能なレベルです。

ただし、本文中にも書かせていただきましたが、A（回答）は、第一霊の霊力を行使し、かつ、宇宙霊と霊界の全銀河霊の知恵も借りて作成した内容ですので、複数の A（回答）に関して、皆様の答えが A（回答）と^{おおむ}概ね一致した内容であったとすれば、その方は、第一霊を超えた^{ち ゆりよく}霊格者・霊力者・治癒力者・霊界通信力者です。

また、本書は、「虹の掛け橋 宇都宮大地の公式ホームページ」で 2025 年 2 月 17 日から 2025 年 4 月 10 日まで、無料公開していたものです。

この本が、皆様に少しでも参考になったならば幸いです。

2025 年 2 月 17 日
(著者) 宇都宮 大地

真理と摂理の働きをすべて学ぼう

「虹の掛け橋」第7巻 目次

はじめに	1
第53章 苦しみが緩和され、喜びが増すようであれば、 修行を続けてゆくことはできない	6
1 補足説明 その1 ～修行は（心の）葛藤です	6
2 Q&A その1 ～Q1～Q3	19
第54章 完全性を求めた急激な変化は、 逆に息苦しい反真理的世界を創ってしまいます	25
Q&A その2 ～Q4	25
第55章 「絶滅＝終わり」ではありません	34
1 Q&A その3 ～Q5	34
2 補足説明 その2 ～戦争に終止符が打てれば、皆様の霊格・霊力は、 加速度的に向上します	36
第56章 「嫌いな人にも愛を注ごう」という表現では、 ハードルが高くて挫折します	41

Q&A その 4	
～Q6.....	41
第 57 章 「小さい人、弱い人、不幸な人」が、	
地球（＝人類）の危機を救う	54
Q&A その 5	
～Q7 と Q8.....	54
第 58 章 戦争が絶えない世界でも、	
平和と調和と秩序を目指して、摂理が働いている	65
Q&A その 6	
～Q9～Q11.....	65
第 59 章 霊界はどこにあるのでしょうか？	
それはヒ・ミ・ツです.....	74
Q&A その 7	
～Q12～Q16.....	74
第 60 章 ○○君の△△が未熟だと言うのであれば、	
○○君を超えた△△を作ってからにしてください.....	93
Q&A その 8	
～Q17 と Q18.....	93
第 61 章 軍事力に頼らない恒久的な平和が	
確立されると信じます	104
1 補足説明 その 3	
～試行錯誤前進が最速で、	

かつ、最も高く登れることもあるのです	104
2 Q&A その 9	
～Q19.....	108
第 62 章 天使たちは、真理的行為を ^{けなげ} 健気に実践している	
貧しき努力家に対してのみ、	
干渉（アドバイス）できる	113
Q&A その 10	
～Q20 と Q21.....	113

第 53 章

苦^{かん}しみが^わ緩和され、喜^きびが増^あすようでなければ、
修^{しゆ}行^{ぎやう}を続^{つづ}けてゆ^よくことはできない

1 補足説明 その 1

～修^{しゆ}行^{ぎやう}は（心^{こころ}の）葛^{かつ}藤^{とう}です

① 「善^{ぜん}行^{ぎやう}によつて、罪^{つぐな}を償^{つぐな}える」や「善^{ぜん}行^{ぎやう}によつて、狂^{くる}った人生^{じんせい}の齒^は車^{ぐるま}（時^{とき}の流^{なが}れ）を正^{ただ}常^{じやう}に戻^{もど}せる」の応^お用^{よう}問^{もん}題^{だい}。

- ・善^{ぜん}行^{ぎやう}によつて、怒^ぐりや不^ふ満^{まん}・愚^ぐ痴^ちを^{おさ}抑^{しず}え（鎮^{しず}め）られる。
- ・善^{ぜん}行^{ぎやう}によつて、慢^{まん}心^{しん}を^{おさ}抑^{しず}えられる。
- ・善^{ぜん}行^{ぎやう}によつて、悲^{かな}しみを忘^{わす}れられる（乗^{のり}り越^こえられる）。
- ・善^{ぜん}行^{ぎやう}によつて、苦^くしみに耐^たえられる。
- ・善^{ぜん}行^{ぎやう}によつて、問^{もん}題^{だい}を解^{かい}決^{けつ}できる。
- ・善^{ぜん}行^{ぎやう}によつて、福^{ふく}を^{まね}招^{まね}くことができる。
- ・善^{ぜん}行^{ぎやう}によつて、有^う頂^{てい}天^{てん}になつてゐる心^{こころ}を鎮^{しず}められる。
- ・善^{ぜん}行^{ぎやう}によつて、挫^さ折^{せつ}しても立^たち直^ちりが早^{はや}くなる。
- ・善^{ぜん}行^{ぎやう}によつて、緊^{きん}張^{ちやう}を^{かん}緩^わ和^わできる。
- ・善^{ぜん}行^{ぎやう}によつて、気^き分^{ぶん}が良^よくなる。
- ・善^{ぜん}行^{ぎやう}によつて、願^{かな}いを叶^{かな}えることができる。
- ・善^{ぜん}行^{ぎやう}によつて、和^わ解^{かい}できる。
- ・善^{ぜん}行^{ぎやう}によつて、平^{へい}和^わを^{まね}招^{まね}くことができる。
- ・善^{ぜん}行^{ぎやう}によつて、愛^{あい}と知^ち恵^えと勇^{ゆう}気^きと希^き望^{ぼう}と友^{とも}が得^えられる。
- ・善^{ぜん}行^{ぎやう}によつて、生^がき甲^{がい}斐^ひを見^みつけることができる。
- ・善^{ぜん}行^{ぎやう}によつて、天^{てん}から、とて^とも大^{だい}切^{せつ}な使^し命^{めい}が授^{さづ}けられる。
- ・（これら^{これら}の）「逆^{さか}も真^まなり」と言^いう摂^あ理^くの働^{はたら}きによ^より、悪^{あく}行^{ぎやう}によつては、問^{もん}題^{だい}は解^{かい}決^{けつ}できず、怒^ぐりや不^ふ満^{まん}・愚^ぐ痴^ちが増^あすだけで、むしろ愛^{あい}

と知恵と勇気と希望を失い地獄が現象化する。

② 刑法上の罪を犯して、善良な人々の命や財産を奪った者たちは、罪を犯させた、知能や、言語や手足の機能が没収^{ぼつしゅう}された状態で、捜査^{さうさ}に掛かった経費と労力を支払う、悲惨^{ひさん}な霊界での生活と来世が待っているのです、現世のうちに、罪を償い始めた方が賢明^{けんめい}です。

③ 国王制や独裁体制等の廃止を、命を懸^かけて説く必要はありません。それはなぜか？ 彼らは、飢え苦しむ人たちや被災して苦しむ人たちがいても、形だけの見舞いの言葉で、（憲法で保障されている身分だからと言う口実^{こうじつ}を掲^かげて）贅沢^{ぜいたく}三昧^{さんまい}の生活を続けている人たちですから、贅沢^{ぜいたく}三昧^{さんまい}の程度に応じた報いを、霊界で、そして来世、貧しい日々を過ごす形で受けることになるからです。つまり、彼らを、摂理の働きに委^{ゆだ}ねていれば、やがて、彼らは、報いの苦しみの中で、国王制や独裁体制がいかに反真理的体制なのかを知ることになるからです。ですから、国王制や独裁体制等の廃止を、命を懸けて説くのではなく、「彼らが自ら、国王制や独裁体制と決別して、地獄の未来世を送ることがないよう」祈れば良いと考えます。

同じように、悪業^{あくごう}三昧^{さんまい}の生活を送っている極道^{ごくどう}の人たちに対して、命を懸けて法を説く必要はなく、「彼らが自ら、極道の世界と決別して、地獄の未来世を送ることがないよう」祈れば良いと考えます。

④ 銀河霊たちが、罪を償い合うことにした、（正確には、罪を償い合うことにしなければならなかった）根本的理由があります。

それは、人類が歩んできた歴史が物語っているように、銀河霊たちが、真理と摂理の働きに関して無知な世界（地球）に、人霊^{じんれい}レベルで降誕したとき、食糧難の状況を乗り切るため、あるいは安定した食糧

を確保するため、他の人（霊）たちと生死（命）を懸けて戦うことになり、その結果、多くの人たちを傷つけたり、^{だま}騙したり、^{あや}殺めたりすることになりました。

一方、銀河霊たちには、宇宙の創造方法を徐々に学んでもらうと言う、創造主が課した使命があるため、霊界の銀河霊たちから、地上の銀河霊（人類）に、高度な文明が徐々に送信されることになりました。すると、高度に進化した^{きつりくへいき}殺戮兵器が製造されるようになり、一人の人間が、数万人、数千人を、一瞬で殺めることが可能になってしまいました。この人間を仮に A 国の A さんとしますと、A さんが、自分の国、家族、親族、友人等々の生活を守るため、敵と認識してしまった、周辺の善良な C 国、部族等々の人々数万人の命を、B さんに命じて、奪った場合、A さんと B さん、さらに、A さんと B さんの行為に賛同した A 国民は、真理と摂理の働きにより、罪の報いを受けることになります。

では、どれほどの罪の報いとなるのか？

結論から言うと、A 国民の利益を得るためとは言え、C 国民の命と財産と子どもたちの希望・未来を奪い、^{がた}耐え難い苦しみを与えた A さんは、銀河霊から^{いっき}一気に動物霊～想念レベル、B さんは人霊～物質レベル、A 国民は、恒星霊～植物霊レベルの霊体に落ち、その世界・霊界から、心の修行をやり直すことになります。

人類は、このような戦争を^{いく}幾つも繰り返しておりますので、自身が犯した罪を、自身で償っていたのでは、戦争のたびに、多くの地上の銀河霊たちが、動物霊～想念の世界に落ちてしまいますから、他の類魂（銀河霊）たちと罪を償い合わない、全銀河霊が、なかなか宇宙霊や第一霊の上位^{とうたつ}霊格に到達できないからです。

ただし、A さんと B さんと A 国民は、当然、他の銀河霊たちよりも多くの報い（天罰）を受けることになります。

⑤ 現在の地上世界は、現体制を長く維持するため、「憲法」など重要な法律ほど、なかなか改正できない制度になっておりますが、これは神仏の目から観れば悪知恵^{わるちえ}です。確かに、急激な変化は、戸惑うこともありますが、適正な移行期間を設けるなど工夫^{くふう}すれば、対応可能です。つまり、重要な法律ほど、有権者（議員や国民等）の過半数で決定・改正可能にすべきです。また、一気に複数の条文を改正するのは、意見が纏^{まと}まらず挫折^{さつせつ}する可能性が高くなりますので、優先順位の高いものから、1条文ずつ、改正手続きを進めるのが賢明だと思います。

⑥ 悟ったことを実践できなければ、悟ったことにはならない。

⑦ お金（＝衣食住）よりも大切なものの存在に気づいた人が、真に幸せな人です。

⑧ 霊界と物質界の宇宙（＝地上世界）は、言ったことは言われる、思ったことは思われる、やったことはやられる、と言う因果律^{いんがりつ}の摂理が、天秤^{てんぱん}で量ったような数学的正確さをもって働きます。

なぜ、そうなっているのか？

言ってはいけないことを言わないため、思ってはいけないことを思わないため、やってはいけないことをやらないためです。つまり、誰もが、そうすることによって、霊界と宇宙に、平和と調和と秩序が形成されるからです。

⑨ 皆様はやがて、広大な霊界と宇宙を旅するようになります。そうになると、そのような霊界と宇宙を創造できる霊力を身につけたいと言

う気持ちが自然に湧いてくるのです。

⑩ 対極に存在するものにも目を向けると言う青金律^{せいこんりつ}の応用問題。

・最も必要で大切なものによって人生を台無し^{だいなし}にすることがある。

たとえば、もてる男は女で、もてる女は男で、人生を駄目^{だめ}にする。

金持ちは、有り余るほどのお金によって、人生を駄目にする。

健康な者は、健康を過信して、定期健康診断を受診しなかったために、病気を早期発見できず手遅れになる。

登山に自身のある者ほど、山で命を落とす。

水泳に自身のある者ほど、海や川で命を落とす。

車の運転に自身のあるプロのレーサーが、車の事故で、よく、命を落とす。

強い者ほど、プロレスのマットで命を落とす。

評価の高い教育者（＝聖職者や徳の高い人や天使や天女も同じ）ほど、言葉で、強烈^{きょうれつ}に他人^{ひと}を傷つけてしまうことがある。

判事や警察官や刑務官や消防署員や自衛隊員や聖職者ほど、大きな罪を犯してしまうことがある。

世間でよく言われている「好事魔多し^{こうじまおお}」（反対は「ピンチはチャンス」）や、「練習は本番のつもりで、本番は練習のつもりでやれ」も同じ思考。

など。

⑪ 私は地上に降り立って、モーゼ君が説いた教えと、釈迦君が説いた教えと、イエス君が説いた教えと、マホメット君が説いた教えと、シルバーバーチ君が説いた教え（＝バトン）を受け取りました。これらは、私が霊界にいたとき、宇宙霊や銀河霊の皆様に説いていた教えが、地上に降りた私に戻されたものですが、ここは、謙虚^{けんきょ}に、彼ら

（五霊たち）から、バトンを受け取ったと解すべきであると気づきました。では、なんのために、彼らの教えを受け取る必要があったのか？ それは、彼らの教えを^{しゅうたいせい}集大成し、^{じんれい}人霊レベルから未来の創造主である第一霊に^{つな}繋がる真理の^{らせん}螺旋階段（＝赤～紫・^{はくごんりつ}白金律）を、文字（＝目に見える虹）で表すためです。そうすることによって、誰でも、この階段を登って、第一霊の霊格に到達できるからです。

⑫ 惑星霊界以下の世界では、行為の報い（^{ほうび}天罰・^{ふくとく}褒美・福德）を速やかに受ける世界ですから、この法則（真理と摂理の働き）によって、平和と調和と秩序が形成・維持されているため、この法則が創造主そのものであると（彼らの認識では大霊、だから創造主は、男性神や女性神のような人間的形態でないと）考えられており、自分たちが、どれほど霊力・霊格を向上させていっても、この法則そのものにはなれない、つまり創造主にはなれないと考えています。

また、これまで休むことも、変更されることもなかった、このような完璧に働く法則が、今後、2つ、3つと、現れる必要もない、つまり自分たちが、新たな創造主に成長する必要はないと、考えている訳です。

⑬ 地上に降誕した第一霊は、地上にいるうちに（＝現世のうち）に）、己の（犯した）罪を認め心の底から反省（^{ざんげ}懺悔）した霊体については、許す霊体です。

⑭ 霊格が低い動物霊界や植物霊界では、自己責任や自力解決の世界であることは、だれもが容易に想像できるかと思います。これと同じように、銀河霊から観て霊格が低い惑星霊界や^{じんれい}人霊界では、^{ひと}他人の罪を背負い合う自己犠牲の精神があまり育っていない世界ですから、困

った人がいても、基本的に「捨て置け」の自己責任と自力解決の世界なのです。

⑮ すべての霊体に対して尊^{そんげん}厳の心をもって接するべきです。

⑯ イエス君が聖書の中で語っているように「天に富を積むべき＝他人^{ひと}のためにお金を使う形で、天に徳（分）を積むべき」です。

⑰ 1人ひとり（1つ1つ）の霊体を丁寧^{ていねい}に・根気よく導いてゆくことが重要です。（直ぐに答えを見るのではなく、丁寧に・根気よく（私の）公案を解いてゆくことが、この実践の良い練習・訓練になると、霊界の銀河霊たちが言っております。そして、直ぐに答えを見てしまうような人では、数万年経^たってもたいして霊格・霊力・治癒力・霊界通信力は向上していないとも言っております。）

⑱ 善行によって、報いの苦^{やわ}しみを和らげる。

⑲ 悩み苦しんで、罪を償う。

⑳ 自らの悩み苦しみから、大勢の人たちが、悩み苦しんでいる現状を知る。

㉑ 真理と摂理の働きを学んでいただきながら、未来の創造主に導くために、全生命体にとって、敵や毒や好ましくないと思える生命体（ウイルスなどの病原菌、寄生虫、癌^{がん}細胞など）を創造したり、生命体の遺伝子を操作したりして、さまざまな病気を生み出した責任者（創造主）として、地上に降誕した際、これらから派^は生^{せい}する病気・苦

しみを、一通り^{ひととお}味わい、かつ、これらの病気を、薬に頼らずに克服^{こくふく}する方法を探し、確立して、人類に示すことが、地上に降誕した、第一霊に課せられた大切な使命の一つです。

② 美しい人生は、日々、善想念で心を満たして美しく生きる、その積み重ねです。しかし、愚痴^{ぐち}や迷いや煩惱^{ぼんのう}などの悪想念が自然に湧いてくるので、常に（心の）葛藤^{かつとう}です。そして、飽和点を超えた実践は、すべきでないことも理解しながら生活することも大切です。

③ あまり難しく考えない。遊び心でゆったり・のんびり・マイペースで。

④ 嫌いな人に出会ったとき、「嫌いだ」と言う感情をゼロにすることは、不可能です。でも、この感情を可能な限り小さくすることが大切で、心の修行です。この修行を実践すればするほど霊格・霊力が向上し、同時に、愛と知恵と勇気と希望と霊界通信力と治癒力が向上します。喜怒哀楽や見返りを求める感情（＝悪想念に繋がり、霊格・霊力を低下させる感情）を小さくするよう努めること（感情をコントロールすること）も同じ効果があります。

⑤ 善行によって怒りを鎮^{しず}め冷静さを取り戻す。逆も真なり。つまり、悪行によって怒りが増し人生を誤る。

⑥ 仏道^{ぶつどう}修行を開始して間もないころ、先達^{せんだつ}（先輩の修行者）から言われたことがあります。それは、「真^{しん}の懺悔^{ざんげ}とは、全身^けの毛穴^{あな}から血が噴^ふき出すほどのものだ」と。つまり、「心の底からの懺悔は、耐えがたい痛み・苦しみを伴うものだ」と。最近、私もそう思えるように

なりました。

②⑦ 募金^{ぼきん}などの善行は、自分の未来に、喜びや生き甲斐^{がい}（希望）をプレゼントするようなものです。

②⑧ 誰に対しても、どんなとき（状況）でも、親切に接することができたならば、それは最高な人生と言える。なぜなら、摂理の働きによって、他人^{ひと}に親切にした者は周囲から親切にしてもらえるため、「親切に満ちた」想念に包まれながら日々を過ごすことができるからです。

②⑨ 他人^{ひと}の悪口を言わないように訓練する。なぜなら、悪口は、「私はこの人の不幸を願っている悪霊です」と語っているようなものだから。このような心の紋様では天国には絶対に入れない。もし天国に入ってしまったならば、他の天国の住人が迷惑し、そこは天国の世界ではなくなるから。なので、他人の悪口を（言わずに）我慢^{がまん}できた者・他人の不幸を願わなかった者（＝すべての人々の幸せを祈った者）だけが天国に入ることができ、かつ、喜びに満ちた来世を送ることができる。

③⑩ 悩みや葛藤（迷い）がなければ（心の）修行にならない。そして、目標や向上心や希望や喜び（満足・健康・幸福感・知恵・天国等の褒美^{ほうび}）がなければ、（心の）修行をする気が起こらない。そして、修行をすればするほど、悩みや苦しみが緩和^{かんわ}され、喜びが増すようであれば、修行を続けてゆくことは困難です。

神仏たちは、このような人間の心を理解しているので、心の中に悩みや葛藤（迷い）を生じさせながら修行の道＝真理の世界へ導き、修

行が進むに伴って、有^う頂^{ちやうてん}天にならない程度に喜びと言う福德をプレゼントしてくれる。

③① 楽な修行はない。真の修行は辛く厳^{つら}しいもの。だからこそ、魂は磨^{みが}かれ鍛^{きた}えられる。ただし、継続できるよう限界を超えないように。

③② どんなに苦しくとも、毎日欠かさずいくらかでも募金（善行）しよう。それが、私たちがこの世に生まれた使命の1つだから。

③③ ネイム君（＝宇宙霊たち）が見せた、麻雀牌^{まーじゃんぱい}を操作して役満^{やくまん}
（or満貫^{まんがん}）を創ったり、電話番号や、宝くじの当籤^{とうせん}番号を操作した
り、虹を天に描いたりする霊力は、宇宙霊たちの霊力の偉大さを人類
の皆様を示す目的よりも、私に示す目的が強かったのです。それはなぜか？ 第一霊となった皆様も地上に人間の姿で降誕したとき、宇宙霊たちや五霊たちから「あなたこそ、本物の創造主、しかも始原なる第一霊なのです」と言われても、「（にわかには）信じられません」と答えることと思います。しかし、奇跡^{きせき}的な下線部^{げせんぶ}の霊力^{れいりき}を幾つ^{いく}も観せられたならば「このような偉大な霊力を持つ者の言うことならば、と、次第に（己は創造主、しかも始原なる第一霊であると）確信できるようになり」、創造主としての自覚ができてきます。そして、創造主として相応^{ふさわ}しい行動をとるよう、努める気持ちが出来上がってきます。

③④ 屈辱^{くつじよくてき}的な仕打ちを受けたり、ショックな場面に出合ったりしても、感情をコントロールできるよう努める。（＝心を乱^{みだ}してお馬鹿な行動をとることがないように努める＝芽生^{めば}えてくる悪想念を抑える。）

③⑤ 苦勞して実践した善行が報われないとしたら、真理と摂理がそうでないことになる。

③⑥ 捨て腐^{くさ}って投げやりになってしまったならば、人生はどこまでも崩^{くず}れていってしまう。だから、そうならないように、冷静になって、希望の光を心に灯^{とも}そう。たとえば、「小さくとも毎日こつこつ善行を積み重ねてゆけば、光り輝く霊界での生活と来世が待っているのだ」と言っ

③⑦ 私も皆様も、宇宙霊や銀河霊や恒星霊たちからの意見・忠告・アドバイスには、できるだけ耳を傾けるように心がけよう。たとえ、耳に痛い内容であっても。

③⑧ 懺悔しながら善行によって罪を償う。

③⑨ 限界を超えた自己犠^{ぎ せい}牲は、己も周囲の者も（＝誰も）幸せにしない。

④⑩ 己は今、幸せではないけれども、周囲の生命体を幸せにすることはできる。

④⑪ 修行は、心と体に苦痛（＝心の葛^{かつとう}藤）を伴うものである。なので、苦痛を感じないようでは修行になっていない。

④⑫ 誰のことも恨^{うら}まず侮^ぶ辱^{じよく}せず、日々清らかで美しく穏^{おだ}やかな心で過ごす。

④③ 来世は少しでも良い人生であることを願って、懺悔と善行の日々を過ごす。

④④ 健康で裕福で才能に満ち溢^{あふ}れていたならば、人は真理と摂理の働きを学ぼうと言う気が起こらないため、芽生^めえてくる慢心によって、道を踏^ふみ外^{はず}し必ず不幸になる。やがて、生きるうえで最も大切なもの（＝健康や財産や才能よりも大切なもの）は、真理と摂理の存在を学ぶことであることに気づくことになる。

④⑤ 一度きりの人生だから悔いのないように生きよう。

ネイム これは、一度きりの人生だから、悔いのないように、世界中の美味^{おい}しい物を食べ尽くそうでは、ないニャーン。

④⑥ 心が折^おれたときは、無理をせずにしばらく休んで心の傷^{いや}を癒^いそう。

④⑦ 善行は苦しみを緩和^{かんわ}してくれるばかりでなく、次第に霊格が向上し進むべき正しい道を選択できる判断力が身につき人生が豊かになる。

④⑧ 人生では、自分の持っている正義（価値観）とは異なる正義を持っている人に出合う。なぜなら、この世は修行の道場だから。そのときは、正義は人によって異なることを理解したうえで、共に冷静になって互いに相手の立場で正義を吟味^{ぎんみ}し、そして共に譲歩^{じょうほ}できる点（妥協^{だきょうてん}点）を見出す努力をしなければならない。そうしないと戦争になってしまうから。

④⑨ 恒星霊界以上の世界では、「傍観^{ぼうかん}」は、愛のない心から発した反真理的行為（＝罪）で、「このような者が増えれば増えるほど、愛や優^{やさ}しさや喜びが涸^かれた社会となり、犯罪が増え秩序が崩壊する。」ことが常識となっています。

⑤⑩ 悟ったら修行は終わりではありません。なぜなら、悟ったことを基に、多くの人たちを幸せにするための（試行錯誤^{しこうさくご}の）実践修行がスタートするからです。この修行によって、魂^みが磨かれ・鍛^{きた}えられ、霊格が向上し、それに相応^{ふさわ}しい霊力と治癒力と霊界通信力と霊界での生活と来世が天からプレゼントされるのです。

⑤⑪ 「悩み苦しめば苦しむほど、（己^{おのれ}と類魂たちの）罪が許される」と、心の底から思えるようになると、苦しみの先にある希望の光が観えてきます。

また、周囲からいじめや惨い仕打ちを受けたとき、摂理の働きは完璧ですから、同じような、いじめや仕打ち（や傍観）を己または類魂たちが過去（現世または過去世）に犯しています。だから、いじめた人や惨い仕打ちをした人たち（傍観者を含む）を許せば己や類魂たちが犯した罪も許され、許さなければ己や類魂たちが犯した罪も許されません。「相手の罪は許せないが己や類魂たちが犯した罪は許して欲しい。」と言うわがまは摂理には通じませんから。これらが、基本的で、かつ、完璧な摂理の働きです。

それに、いじめた人や惨い仕打ちをした人たち（傍観者を含む）に復讐^{ふくしゅう}することを考えてはいけません。なぜなら、彼らは、同等の報い・苦しみを、現世または霊界でまたは来世、必ず受ける・味わうことになるからです。罪の報いを髪の毛1本ほども軽

くできませんから。

なお、彼らを一^{いっ}き^きに許す実践は精神が破綻^{はたん}する危険がありますので、時間を掛けて徐々に許す努力をする（実践の）方が現実的だと考えます。

⑤② 皆様には、確かに 1 兆の 1 兆乗年以上の永遠の命が保障されています。でも、「虹の掛け橋」に出合った今から、心の修行を開始されることをお勧め^{すす}します。なぜなら、そのときからとても充実した人生（＝美しい人生）がスタートするからです。そして人生を閉じたとき、スムーズに銀河霊界に戻ることができ、そこは天使や天女たちが住むとても素敵^{すてき}な世界だからです。

⑤③ 天使や天女たちは、皆様がイメージする「（準）完全無欠」な霊体たちではなく、とても気さくで寛容^{かんよう}で、己の欠点（未熟さ・お馬鹿さ＝過去はちょっぴりサタンだったこと）を知っている霊体たちです。そして最大の長所^{けなげ}は、健気な努力家と言う点です。

⑤④ A さんが B さんに対して犯した罪を、B さんがどうしても許してくれないときは、B さんから許しを得ることを（しばらく）断念して、（B さんに対して）心の中で懺悔^{ざんげ}しつつ、B さん以外の、できるだけ多くの人たちを幸せにする善行を実践する形で徳を積むのが現実的（＝霊格・霊力・治癒力・霊界通信力は向上します）です。

2 Q&A その 1

～Q1～Q3

Q1 創造主になることを目指さなくても良いので、どこまでも清涼^{せいりょう}さを求めて向上し続ける惑星霊界で、ずーっと、過ごしたいのですが可能ですか？

A1 霊界も物質界の地上世界も、基本的に皆様の自由意思が尊重^{そんちよう}されます。つまり、霊界や地上でどのように過ごすかは、基本的に皆様の自由です。基本的にとったのは、皆様の自由意思は最大限尊重されますが、創造主が、霊界と物質界の宇宙を創造した目的である、「すべての霊体を創造主の霊格（霊力）レベルに導く」という真理と摂理が、全霊体に、自動的に働くことになるからです。

では、どのような形で、この真理と摂理が働くのか？

惑星霊界の最高級界であっても、六道輪廻^{ろくどうりんね}（地獄、餓鬼^{がき}、畜生^{ちくしょう}、修羅^{しゅら}、人^{にん}、天^{てん}）で言う、天（界）に相当する世界です。つまり、清涼さはあっても、輪廻を繰り返す迷える魂^{つど}が集う世界です。

「第6巻」で述べたように、惑星霊は平均2万年に1度、地上に降りて人間の姿で心を磨^{みが}く修行をしなければなりません。

これも、「第6巻」で述べていますが、惑星霊界は、自己責任や自力解決の精神は高いものの、「困っている人」がいても基本的に「捨て置き」の世界です。

この世界で、惑星霊たちを、創造主の霊格者・霊力者へ導くために真理と摂理が働くのです。

未来の創造主になるための必須実践課題の1つに、「すべての霊体を選び好みすることなく、見返りを求めず無上の愛を注いで救ってゆくこと（＝藍金律^{らんこんりつ}の実践）」があります。したがって、「困っている人」がいても、「捨て置き」の精神は、創造主の藍金律の精神に照らし合わせると、反真理的精神・行為になるのです。

したがって、このような反真理的行為を繰り返した惑星霊は、惑星

霊界最高級界での生活を維持できなくなるため、やがて、人^{じんれいかい}霊界や畜生界（動物や昆虫の世界）に落ちて、修行をやり直すことになります。

具体的にお話しすると、数万年間、惑星霊界最高級界で過ごした惑星霊は、「困っている人びとを見捨てた行為」が創造主の怒りに触^ふれて、人霊界や動物霊界に落ちます。

動物霊界にまで落ちた者は、この世界から、10億年ほど掛けて（苦しみを味わいながら）人霊界、さらにそこから10億年ほど掛けて（苦しみを味わいながら）惑星霊界を目指して心の修行をすることになります。

この輪廻を卒業して恒星霊界に入ってゆくためには、強い、自己責任や自力解決の精神を維持しながら、（これに加えて）「すべての霊体を選び好みすることなく、見返りを求めず無上の愛を注いで、迷わず救ってゆく」藍金律の精神を学び始める必要があります。

それで、惑星霊界最高級界にまで進化した惑星霊たちは、惑星霊界大学院博士課程最高難度クラスで、銀河霊や恒星霊たちから、私の教え（真理と摂理の働き）を学んで、より高い霊格者・霊力者へと導かれ、惑星霊界を卒業して恒星霊界へ入ってゆけるよう、自動的な配慮がなされています。

でも、困っている人に対して「捨て置き」の態度をとっていた霊体が、いきなり宇宙霊レベルに求められる藍金律である「すべての霊体を選び好みすることなく、見返りを求めず無上の愛を注いで、迷わず救ってゆく」実践は、ほぼ不可能です。

ですから、惑星霊が恒星霊に進化するために求められる資質を正確に語ると、「六道輪廻の迷いの世界である惑星霊界を卒業して、恒星霊界に入る目的意識をもって、可能な限り、困っている人に親切に接することができる霊体になること」です。

このように、惑星霊界や恒星霊界では、見返りを期待してでも善行を実践することが、むしろ推奨^{すいしょう}される世界なのです。

ここで、当初の質問に戻って、「創造主になることを目指さなくても良いので、どこまでも清涼さを求めて向上し続ける惑星霊界で、ずーっと、過ごしたいのですが可能ですか？」に対する回答ですが、「上記の理由で、それは、ちょっと無理かも」になります。

Q2 同一類魂内の霊体には、霊格・霊力の差はあるのでしょうか？

A2 恒星霊以下の類魂内では、多少の差はありますが、銀河霊の類魂内では、基本的に差はありません。それは、なぜか？ 銀河霊は、罪を償^{つぐな}い合う方針で結ばれている、つまり、天罰^{ほうび}も褒美・福德も類魂たちと分かち合う霊体ですから、地上でAさんが罪を犯した場合、その天罰を霊界の類魂の中で、その天罰に最も耐えることが可能な霊体（＝霊力・霊格が高い霊体）が引き受けることになります。

一方、地上でAさんが善行を行った場合、その褒美・福德を霊界の類魂のなかで、その褒美・福德を最も必要とする霊体（＝霊力・霊格が低い霊体）が受けとるため、類魂内の霊力・霊格には、基本的に差がないのです。

ですから、五霊は、正確には「五大銀河類魂霊団」です。

また、惑星霊界以下では、基本的に自己責任・自力解決の（天罰・褒美・福德は自身で受け取る）世界ですから、類魂内の霊体には多少の差が生じています。

なお、恒星霊界では、罪を償い合う精神・効果を学び始めている世界ですから、この差（＝類魂内の霊力・霊格の差）は、惑星霊界以下の世界と比べると、かなり小さくなっています。

Q3 飢え苦しむ者たちや地震や水害で被災^{ひさい}して苦しむ者たちや難病で苦しむ者たちがいるにも関わらず、贅沢^{ぜいたくざんまい}三昧の日々を送る独裁者や国王たちや金持ちたち（以下「贅沢三昧者たち」）が天国（惑星霊界以上）の世界に入れないのは、どのような真理と摂理の働きによるのでしょうか？

A3 「第6巻」のQ7に対するA7で語ったように、銀河霊以下の霊体は、第一霊と宇宙霊たちから注がれる愛（＝善想念）を受け取って生命を維持し活動しています。そして、第一霊と宇宙霊たちは、銀河霊、恒星霊、・・・・・・、物質霊、想念たちから送られてくる感謝の念（＝善想念）を受け取り、このエネルギーを再び、（銀河霊以下の霊体の活動エネルギーとなる）愛に変えて、銀河霊以下の霊体に注いでいます。

同じように、銀河霊たちが、恒星霊以下の霊体を慈^{いつく}しむ愛（＝善想念）、このエネルギーも恒星霊たち以下の霊体の活動エネルギーとなっています。

つまり、全霊体（生命体）は、上層の霊体から注がれる愛（類魂から注がれる愛を含む）と、下層の霊体から送られてくる感謝の念（類魂から送られてくる感謝の念を含む）によって活動エネルギーを得ています。このようなことから、贅沢三昧者の生活は、皆で分かち合うべき生命活動エネルギー（福德等）を独占し浪費^{ろうひ}している生活であると言えるため、多くの霊体たちから反感を買う反真理的行為（霊界と物質界の宇宙の平和と調和と秩序を乱す行為）となり、彼らの霊格・霊力・生命活動エネルギーは急降下することになります。

それに、贅沢三昧者たちが天国の世界に入ったならば、このような生活に多くの人たちが憧^{あこが}れ、世の中は滅茶苦茶^{めちやくちや}です。

なので、皆様は、可能な範囲で、飢え苦しむ人たちや地震や水害で被災して苦しむ人たちや難病で苦しむ人たちに愛を注ぐ天使的行為の実践者になるよう努められることをお^{すす}勧めいたします。

第 54 章

完全性を求めた急激な変化は、
逆に息苦しい反真理的世界を創ってしまいます

Q&A その 2

～Q4

Q4（五霊レベルの難問） 「第 1 巻 第 2 章 7 先祖供養」では、

「先祖に感謝しながら霊前に手を合わせる、墓参りをする、先祖に感謝しながら行うことはすべて先祖供養になります」と書かれています。

一方、「第 1 巻 第 7 章 6 願い・祈り」では、「神仏に向かって自分や家族や自国のことを願ってはいけません。それはなぜか？理由はこの行為は、周りの人々や国々の幸せに繋がっていないが故に、やがて争い・不協和・無秩序の世界を招く恐れのある反真理的行為そのもので、かつ、このような行為を続けていたのでは、己の霊格（人格）向上を全く促すことがないからです。なので、反真理的行為は本願的な願いが叶わないように摂理が働き、争いと混乱と不幸と悪意に満ちた現在の地上世界（家庭・学校・職場・国家）のような反真理的世界が自動的に創造されてしまいます。」と書かれ、

さらに、「第 5 巻 改訂版 第 45 章 5 復活 その 4 ～三角形」でも、「成熟した時代（成就点）を迎えれば、仏壇も位牌も供物も宗教的行事も必要なくなります。なぜなら、先祖供養とは、周りの生命体を幸せにすることであると言う真理が正しく浸透するからです。つまり、先祖の成仏・銀河霊界への道案内は、霊界の銀河霊たちに委ねられ、これまで先祖供養のために使われていたお金は、たとえば、貧しい人たちや被災地の人たちの衣食住のために使われる、成

熟した地上世界になるからです。さらに付け加えるならば、己の先祖の成仏・幸せを祈る行為は、霊格が全く向上しない反真理的行為で、このような祈りは反真理であるがゆえに成就しないように摂理が働くことに加え、子孫に我が家^やよりも周囲の家々^{いえいえ}の先祖の成仏を優先する真理的祈りを説いてこなかった責任が問われ、悲しいかな、先祖は、お尻ぺんぺんの世界に落ちることになります。まず、周囲の家々の先祖や無縁なる霊体の成仏・幸せを祈る真理的行為の実践ができるかどうか、神仏から問われている永遠のテーマなのです。

今の皆様には理解困難かも知れませんが、このような真理的实践者が大多数を占める状況にならなければ平和な世界が訪れないように真理と摂理・宇宙ができあがっているのです。」と書かれ、矛盾^{むじゅん}した内容です。

そこで、お尋ね^{たず}したいのは、先祖に感謝しながら霊前に手を合わせたり、墓参りをしたりする行為は、真理的行為になるのか、それとも反真理的行為になるのか、どちらなのでしょう？

私 回答（A4）は、約3か月後の2025年6月1日頃に、当ホームページ上で公開させていただきます。「頃」と表記したのは、都合によって数日うしろにずれる可能性があるからですので、ご了解くださるようお願いいたします。

なお、デリケートな問題を抱えている質問ですので、皆様に得心^{とくしん}していただけるよう、できるだけ根拠を示したり、具体例を加えたりして、注意を払いながら、かつ「第1～6巻」までに記載した文言・知識のみを使ってわかりやすく解説・回答するよう努めます。

では、考えることを楽しんでください。

舍利子^{しゃりし} ちょっと待った！

私 え！ なに？ 舍利子君。

舍利子 Q4は五霊レベルの難問です。

私 それが？

舍利子 五霊に尋ねたら、「Q4は、今の霊力を総動員しても答えに辿り着くには3か月以上掛かり、我々の地上時代の霊力では回答不可能です」と言っています。となると、人類の皆様が答えに辿り着けるとは思えません。

私 では、回答を公開するのは、1年後にする。

舍利子 そうではなくて、回答を速やかに公開してほしいのです。

私 私の公案やQ&Aは、できるだけ自分なりの答えを探索した後に、私の回答を読まれた方が、理解が深まって霊力も身につくと思うのです。

舍利子 うーん。確かにそれは言えますが、決して辿り着けない難問であることを知らずに、一心不乱に考え続けるのは、隕石が頭上に落ちてきても気づかない恐れがあり危険です。

私 大袈裟だなー。

舍利子 孝ちゃんが私にプレゼントしてくれた公案、「好きな娘に翳す花は？」。この公案、マホメット君は直ぐに解けたようですが、私の知恵を遥かに越えた世界に答えが存在しておりましたので、解くのに私は1か月以上掛かりましたよ。しかも、無数に存在する草花の中で、答えが1つであることにも驚かされました。

孝ちゃんの公案は、答えを読めば簡単明瞭ですが解くとなると超難問なのです。このように五霊が直ぐに答えられる公案でも、我々レベルの銀河霊では解くのに数か月を要する場合もあるのです。ですから、五霊が解くのに3か月を要するレベルの難問の答えは、速やかに公開していただきたいのです。

これは、五霊を含めた霊界の銀河霊全員の総意です。この総意を伝

え・交渉するために、私はここに来ているのです。

私　なんか、ちょっと大袈裟な話ですが、わかりました。霊界の銀河霊たちの願いを聞いてあげますので、私の願いも聞いてくれる？

舍利子　対応可能であれば。　で、願いとは？

私　可能な範囲で公開を前倒し^{まえだお}しますので、カラオケの無料券をプレゼントしてくれますか？

舍利子　わかりました。6月1日から1か月前倒しで、無料券1枚、2か月前倒しで2枚、3か月前倒しで3枚プレゼントします。

私　では3枚で。

舍利子　了解です。交渉^{こうしょう}成立ですね。

私　ですね。

私　と言う経緯^{いききつ}で、回答を3月1日から公開させていただきます。

なお、自ら答えを探求される方は、1度、当ホームページを離れ、自分なりの答えを得た後に回答を読んでください。

A4　先祖に感謝しながら霊前に手を合わせたり、墓参りをしたりする行為は、人霊界^{じんれい}や惑星霊界では真理的行為となり、恒星霊界以上の世界では反真理的行為となります。ただ、皆様には「反真理的行為」と表現されると、強い違和感^{い わ かん おぼ}を覚えることと思いますので、ここでは「真理的行為」を「霊格・霊力・治癒力^{ち ゆ}・霊界通信力（以下、単に「霊格」）を向上させる行為・想念」、「反真理的行為」を「霊格を下させる行為・想念」と表現した方が理解し易い^{やす}かも知れませんので、以下、そのように表現して説明を続けます。

「第3巻　第24章　黄金律」で、イエス君は、

*1

「霊界は肉体のような物質は存在しない、想念の世界です。

皆様は霊界では霊体の姿をしており、この霊体からは抱^{いだ}いている想

念イコール靈格に応じた色（オーラ）が発っせられています。ここで仮に靈格が向上するほど靈体が赤色、橙色、黄色、緑色、青色、藍色、紫色と粗雑さから精妙な波長色に変化してゆくと強く仮定します（あくまで仮定ですので、これを肌色と読み替えられて仕舞っては滅茶苦茶になり、このような結果を招いた場合、私はその責任が問われ他の銀河靈たちから、お尻ぺんぺんされて仕舞います）。そして今、皆様の靈格はこの中央波長の緑色であるとしします。

皆様が今「善想念」を抱いたとしします。するとこの「善想念」が（野球）ボールのような球体となって靈体から分離して概念的空間に飛び出してゆきます。このボールは「善想念」ですから、靈体の緑色より靈格の高い青色で飛び出してゆきます。靈体には青色のボールと同じ大きさを持った窪みと同じ色の縁取りがその窪みにできます。

同じように「悪想念」を抱くと靈体よりも靈格の低い黄色のボールが概念的空間に飛び出してゆき、靈体にはこれと同じ大きさを持った窪みと同じ色の縁取りがその窪みにできます。

概念的空間には、無数の靈体から飛び出した、想念からなる青色と黄色のボールが無数に浮いています。このボールは、空間をリング状の帯を形成して常に右（or 左）方向に回っているとします（回ることによって、お互いに自身が発したボールが必ず他の靈体に影響を及ぼす環境を創れるのです）。靈体にはこのボールを引き付ける（引力）があって、靈体にできた窪みと同じ縁取りの色をし、かつ同じ大きさのボールが左（or 右）から靈体に近づき合流します。自身の靈体より精妙な波長色のボールが合流すると靈体は喜びと楽しみを感じ、粗雑な波長色のボールが合流すると怒りと哀しみを感じるようになります。

これが、摂理が自動的に働くメカニズムをイメージできるように説明するためのたとえ話です。

より精妙な波長色のボールをたくさんキャッチすると、霊体も精妙な波長色に徐々に染まって霊格が向上してゆきます。逆に粗雑なボールをたくさんキャッチすると、霊体も粗雑な波長色に徐々に染まって霊格が下降してゆきます。

青色の霊体色にまで向上すると、藍色と緑色のボールでキャッチボールする霊界へ昇ってゆくことになります。逆に黄色の霊体色にまで下降すると、緑色と橙色のボールでキャッチボールする霊界へ落ちてゆくことになります。

地上世界である物質界の生命体も根本的には霊体ですから、このような摂理のメカニズムが自動的に作用します。

彼が創造した真理と摂理の働きにより、すべての霊体は、本能的に己の霊格向上を目指します。」

* 1

と語っているように、霊格が低い世界（つまり、人霊界や惑星霊界）では、「善想念（つまり、霊格を向上させる行為・想念）」であっても、高級霊界（恒星霊界以上の世界）では、「悪想念（つまり、霊格を低下させる行為・想念）」となることがあるのです。

よって、人霊界や惑星霊界では、「先祖に感謝しながら霊前に手を合わせる、墓参りをする、先祖に感謝しながら行うことは、すべて先祖供養になり」、己の霊格を向上させる真理的行為となりますが、恒星霊界以上の世界（皆様は本来銀河霊）では、「我が家よりも周囲の家々の先祖の成仏を優先する祈り・行為が、世界の平和と調和と秩序を形成することに繋がっていることから、こちらの方が、より霊格を向上させる真理的行為」となるのです。

「すべての霊体は、本能的に己の霊格・治癒力の向上（＝進化した生命体・霊体）を目指します」ので、やがて、地上は「我が家よりも周囲の家々の先祖の成仏を祈る行為」が優先される世界に移行してゆ

くことになります。

同じように、創造主や国王などを崇拝^{すうはい}の対象とする行為は、人霊界と惑星霊界では、霊格を向上させる真理的行為ですが、恒星霊界以上の世界では、霊格（治癒力）を低下させる反真理的行為となります。

恒星霊界では、そもそも国王や独裁者が存在しない成熟した社会が形成されています。

なお、なぜそうなのか？ その理由を正しく理解しておくことが大切です。それは、「第 4 巻」でバーバネル君を通して語っているように、

* 2

創造主は創造主を崇拝する者を相手にしません。それはなぜか？
崇拝する者は、反作用が生み出す摂理によって崇拝すべきでない者たちを見出し、この者たちを差別したり排除したり罵^{のの}ったりいじめの対象にしたり、終いには戦い^{しま}を挑んだりして、その結果、平和と調和と秩序が滅茶苦茶に破壊される反真理的世界を創造してしまうからです。

我々銀河霊と創造主とは愛と信頼^{きずな}の絆で結ばれており、それ以上でもそれ以下でもありません。創造主を崇拝の対象にしたり崇拝^{すいしょう}を推奨したりする銀河霊は存在しません。

* 2

と。

これが理由です。

さらに付け加えると、「第 6 巻 第 52 章 2 Q&A の A10」で書かれている、

- ② 巨大隕石^{いんせき}落下。
- ③ 不定期に起こる磁場の反転と、これに伴って降り注ぐ宇宙線。
- ④ 太陽の膨張^{ぼうちょう}による地球の高温化。
- ⑤ 2 億 5 千万年後の巨大大陸（アメイジア大陸）の形成による、地^ち

かく
殻変動と異常気象。

⑥ アンドロメダ銀河と天の川銀河の衝突合体。^{しょうとつがつたい}

などの難局を乗り越えるためには、霊界の銀河霊たちや宇宙霊たちと通信できるだけの霊力者に進化するため、皆様は、より成熟した地上世界を目指す必要があります。

しかし、しつこいようですが、私は、皆様が絶滅しないよう真理の道を示すだけですから、どのような地上世界を創造するか・目指すかは皆様の自由意思です。

なお、本件はとてもデリケートな問題を抱えている質問ですので、皆様に得心して頂けるよう、できるだけ根拠を示したり、具体例を加えたりして、注意を払いながら、かつ「第 1～6 巻」までに記載した文言・知識のみを使ってわかりやすく解説・回答するよう努めたつもりです。

しかし、人霊レベルや惑星霊レベルが正しいと信じている行為、ここで言う「先祖に感謝しながら霊前に手を合わせたり、墓参りをしたりする行為や、創造主や国王などを崇拝の対象とする行為」を、急に恒星霊レベル以上の行為に変えるのは、精神や社会に異常が生じ危険ですので、皆様は、「善行を実践し続けて霊体が恒星霊レベル以上に進化すれば、これらの行為は、恒星霊レベル以上の真理的行為に自然に移行してゆくものなのだ」言い方を変えると、「下線部の行為よりも、周囲の家々の先祖の成仏を優先する祈りや、何人も崇拝の対象にしないと言う行為の方が、^{すがすが}清々しいと感じられるようになる」と理解してください。とよろしいかと思います。

それに、この「虹の掛け橋」は、銀河霊界大学院博士課程最高難度クラスの霊体を対象に語っている内容ですので、この点もご理解ください。

最後に注意すべき事項をお話しします。

それは「第 6 卷」で語っているように

＊ 3

先祖に感謝しながら霊前に手を合わせたり、墓参りをしたりしている人たちや、創造主や国王などを崇拜の対象にしている人たちに向かって、「そのような行為は、惑星霊界や人霊界では、霊格・霊力を向上させる行為であっても、恒星霊界以上の世界では、むしろ霊格・霊力を下げる行為なのです。」と言うのは、お手のできていない飢えたライオンに近づきお手を求めたり、真理と摂理に無知な（銃を構えた or 狂氣的な）兵士・独裁者・国王・民衆・マスメディアに近づいて「戦争を止めるよう」語り掛けたりするようなもので自殺行為です。

＊ 3

命を懸けて法を説けば必ず人と衝突し争いが生まれます。真理は自然に広がってゆくものです。ですから、人と衝突してまで法を説くこととはしないのです。求められたら、「大きい方、好ましい方、楽な方を人に譲りましょう。そうすれば太陽のように輝いた人生を送ることができます」と、説く程度に留めましょう。

完全性を求めた急激な変化は、逆に息苦しい反真理的世界を創ってしまいますから。

それに後述しますが、「絶滅＝終わり」ではありません。皆様には 1 兆の 1 兆乗年よりも永い寿命が保障されておりますので、余暇を楽しみながら、そしてユーモアの心を持ちながら、第一霊界に続く螺旋状の階段を、マイペースで登ってください。

第 55 章

「絶滅＝終わり」ではありません

1 Q&A その 3

～Q5

Q5 「第 6 巻 はじめに」で、

＊ 1

皆様に、公案や冗談話を楽しみながら、真理と摂理の働きを学んでいただければありがたいという思いで書きました。公案は、前巻同様、簡単なものから超難問まで盛り込みましたので、常識的な時間の範囲で考えることを楽しんでいただければ幸いです。

ちなみに表記した難度レベルの目安ですが、無表記（簡単～標準）は銀河霊レベル、難問は五霊レベル、超難問は宇宙霊（ネイム君）レベル、最高難度は第一霊レベルです。ということで、皆様の霊格・霊力が向上していることを想定して、前巻までの公案よりも難度はかなり高くなっています。

それと、バーバネル君たちの話によると、私の公案は考えて解く感覚よりも、10 年 20 年 30 年、ひたすら真理的行為を健^{けなげ}気に、かつ謙虚な気持ちで実践して、霊格・霊力を向上させ、私が霊界と宇宙に放射している公案の答えを受信できるようになるまで待つ感覚（≡徐々に背が伸びて（赤～白金色の）果実を、下の物から順に収穫できるようになるまで辛抱^{しんぼう}強く待つ感覚）に近いそうですので、解けた・答えを受信できたとき、その難度に応じた、銀河霊・五霊・宇宙霊・第一霊レベルの霊格・霊力・治癒^{ちゅうりょく}力・霊界通信力に、辿^{たど}り着いたと判断して宜^{よろ}しいかと思います。

＊ 1

と書かれています。

そこで、私（質問者）なりに答えを考えた後に、孝坊^{たかぼう}、いや、孝ちゃんの答えを見るようにしているのですが、どの程度、内容（答え）が一致していたならば、「正解した」と判断できるのでしょうか？

A5 私は、すべての公案について（つまり、銀河霊レベルや、五霊レベルの難問や、ネイム君等宇宙霊レベルの超難問の公案（Q&Aなどの一種の公案を含む）であっても）、第一霊の霊力を行使して答えを探り、私なりに辿り着いた答えを、宇宙霊たちと、五霊たちと、バーバネル君と、天女さんたちに読んでもらい意見を聞いて、より良い内容に修正を加えた後に、再度、全員^{ぎんみ}で吟味^{ぎんみ}して、全員^{ぎんみ}の了解が得られた答えのみを「虹の掛け橋」に掲載^{けいさい}しているのです。

ですから、**Q5** に関しての答え（**A5**）は、

❶ この質問を私が受信できたことから、この種の質問が心に浮かんだことがあれば、銀河霊レベルに到達していると判断できること（私の意見）。

❷ 全公案に関して、答えを見る前に、自分なりの答え・考え・意見をノートなどに書く習慣^{しゅうかん}ができていることニャン、にゃん、ニャーン（宇宙霊たちの意見）。

❸ ♪「オケラの縫^ぬいぐるみ男の孝ちゃんと我々のカラオケ代の足^たしになればと考え、「虹の掛け橋」を数冊購入されていること」♪
（五霊たちの意見）。

❹ 購入後、「いいね」等の高評価ボタンを押して、上記❸^{あと}を後押^おしていることですわ（バーバネル君と天女さんたちの意見）。

❺ 私（たち）の公案の答え（or 回答）を構成している主要（根幹^{こんかん}）

的^{てき}な文言^{もんごん}が、皆様の答えの中に含まれていること（私の意見）。

ですから、❶と❺を満たしていれば、正解と判断してよろしいかと思えます。

そして、❶～❺すべて満たしている方は、第一霊レベル＋宇宙霊レベル＋全銀河霊レベルです。

ですから、複数の公案について、皆様が事前に書かれた答えが、私（たち）の答えと概ね一致した内容であれば、その方は、第一霊を超えた霊力者ですので、そのような完璧な答えまでは、求める必要はないと考えます（＝完璧な答えでなければ不正解と考え、挫折感を持つことは不健康です）。

そして、天女さんたちも、バーバネル君も、五霊たちも、宇宙霊たちも、♪「その通りですわ」♪、と言っています。

2 補足説明 その2

～戦争に終止符が打てれば、皆様の霊格・霊力は加速度的に向上します

① 皆様が第一霊となって、霊界と物質界の宇宙を創造するときは、「現在、完全死しているすべての霊体を必ず第一霊レベルに導くのだ」という強い決意が必要です。

同じように、（第一霊として）地上に降誕するときは、「地上のすべての争いに終止符を打たせ、そして、すべての人を第一霊レベルに導くため、「いかなる困難にも耐える」強い覚悟が必要です。

しかし、地上に降り立ったとき、一人の人間の霊力のみでは、この使命・目的を果^はたせるはずがないので、霊界の全霊体の協力を仰^{あお}がねばなりません。そのため、私の場合は、霊界にいたときから、全霊体

には、分け隔てなく親切に愛をもって接し、全霊体から満幅の信頼が得られるよう努めました。私は、この信頼を得るために数兆年を要し、今もその努力をし続けています。

何が言いたいかと言いますと、皆様が第一霊として地上に降誕したとき、霊界の全霊体に協力してもらえるように、「今から、全霊体に分け隔てなく親切に愛をもって接していることが大切です。皆様の場合は、始原的第一霊となる宇宙霊たちに対しても礼節をもって接することです。」ということなのです。

② どのようにして、すべての霊体を第一霊レベルに導くのか？ どのようにして地上のすべての争いに終止符を打たせるのか？ その方法を、誰もが読んで理解・納得できる書面（「虹の掛け橋」）に残すことが第一霊の使命の1つです。その書面が未来の第一霊たちの道標となります。

③ 皆様（銀河霊たち）が地上に降誕した目的は、「① 真理と摂理に無知だった時期に、類魂たちが地上で犯した罪を（代わりに）償うため」と、「② 可能な限り、争いに終止符を打たせて、平和で平等で調和と秩序のとれた地上天国を創るため」です。

④ 補足説明その1 ④で、

* 2

銀河霊たちが、罪を償い合うことにした、（正確には、罪を償い合うことにしなければならなかった）根本的理由があります。

（途中、省略）

人類は、このような戦争を幾つも繰り返しておりますので、自身が犯した罪を、自身で償っていたのでは、戦争のたびに、多くの地上の

銀河霊たちが、動物霊～想念の世界に落ちてしまいますから、他の類魂（銀河霊）たちと罪を償い合わないと、全銀河霊が、なかなか宇宙霊や第一霊の上位霊界に入れないからです。

* 2

と書かせていただきました。

このように、「皆様（＝銀河霊全体）の霊格・霊力を著^{いちじる}しく下げている根本的な原因は、高度に進化した殺戮兵器^{きつりくへいき}を用いた戦争です。

だから、これらの戦争（できれば、地上で起きているすべての争い）に、終止符が打てれば、皆様の霊格・霊力低下の主原因が可能な限り除かれます。そうなれば、皆様（＝銀河霊全体）の霊格・霊力が加速度的に向上し、地上は、あつと言う間に、高度な文明と成熟した社会が形成された（地上）天国となります。

なので、私は、地上で起きているすべての争いに終止符を打たせたいと思い「虹の掛け橋」を書いております。言い方を変えると、地上で起きているすべての争いを止^とめないと、全霊体の霊格・霊力の進化が停滞^{ていたい}した状態になってしまうため、何人^{なんびと}をも、第一霊界・第一霊体に導くことができないのです。

皆様銀河霊の使命も、1つ上の③で述べたとおり同じです。

ですから、共にすべての争い（特に、高度に進化した殺戮兵器を用いた戦争）を止めましょう。

無理をせずに、余暇を楽しみながら。つまり、「何とかの掛け橋」を世界中に広めて、選挙による、圧倒的な多数決で。

子どもたちに、銀河霊界と銀河霊体の未来をプレゼントするために。

天女たち キャー！ 素敵な言葉。いつでも呼んでね、カラオケ代払ってあげるから。

私　　はい。

五霊たち　え？・・・・・・・・そっちに変わったの？・・・・いいな、
いいなーあ！

ネイム　え？・・・・・・・・え？　どっち？

私と五霊たちと天女たち　えーえ！

・・・・・・・・

私　私の定番の決まり文句。

これらも、どのような世界・未来を創造するかは、皆様の自由意思
です。私は、皆様が高度に進化した殺戮兵器を用いた戦争によって絶
滅することがないように、理由・説明を付しながら、^{しゆくしゆく}肅々と真理の道
を示すだけです。

ただ、皆様が絶滅したとき、「第 6 巻」で述べたとおり、皆様に
は、「恒星霊たち」（場合によっては^{プラス}「惑星霊たち」）と協力して 1
人の 3 代目第一霊を目指す道が用意されていることと、皆様には 1
兆の 1 兆乗年よりも長い寿命がありますので、「絶滅＝終わり」と深
刻に考えないことです。深刻に考え過ぎると、たとえば、「何とかの
掛け橋」を読んでいない人や、戦争に参加している（参加しようとし
ている）兵士等を、嫌ったり攻撃したりする世界を創造してしまう危
険があり、このような世界も、息苦しい反真理的世界だからです。

釈迦君の言葉を^か借りれば、「両極は^さ避けて中道がいいかもね」で
す。

五霊たちと天女たち　とは言っても、「何とかの掛け橋」を広め、戦
争等の争いに終止符を打って、地上天国を創り、子供たちに銀河霊界

と銀河霊体の未来をプレゼントし、私たち銀河霊だけで1人の3代目第一霊を目指したいですわ。

阿^あ弥^み陀^だと閻^{えん}魔^まとゼウス そうだ、そうだ、そっちの方が絶対にいいよ。

ネイム え？・・・・・・・・え？ どっち？

五霊たちと天女たち えーえ！ またーあ！ ネイム先生 そのフリーズ好きですわねーえ！

ネイム それは違います。著^{たかぼう}者が好きなのです。

五霊たちと天女たち 確かに。

第 56 章

「嫌いな人にも愛を注ごう」と言う表現では、

ハードルが高くて挫折^{ざせつ}します

Q&A その 4

～Q6

Q6 天使（天女）たちにも嫌いな人はいるのでしょうか？ もし、いた場合、どのようにして心を整えているのでしょうか？

A6 私は天使（天女を含む；以下同じ）たちから、「極悪非道^{ごくあくひどう}を繰り返す者たちにも愛を注がねばならないのでしょうか？」という質問を、ときどき受けます。ですから、**Q6** の答えは、天使たちにも極悪非道を繰り返す者たちなど、嫌いな人はいます。

では、このような質問を（天使たちから）受けたとき、彼らが得心できるよう、かつ、最大の注意を払いながら、次のように答えています。

* 1

第一霊（創造主）が霊界と物質界の宇宙（以下「修行の道場」＝単に「道場」）を創造した目的は、すべての霊体を未来の第一霊に導くためです。しかし、この道場は期限付きです。

初代第一霊の第 1 回創造時では、期限内に宇宙霊レベルに到達でななかった霊体は完全死を迎えます。この完全死した霊体を第一霊に導くため、初代第一霊は再び期限付き道場を創造します。しかし、期限内に第一霊に到達しなかった霊体は完全死を迎えます。この完全死した霊体を第一霊に導くため、2 代目第一霊は期限付き道場を創造します。

このように、前第一霊の怒りに触れた者たち（たとえば、己と家族と仲間と自国の幸せのみをどこまでも追及し、敵対するものたちを排除・抹殺^{まつさつ}し続けてしまった者たち）と、前第一霊の霊力をもってしても救えなかったものたちを、未来の第一霊に導くための道場の創造行為が、次の第一霊たちによって無限に繰り返されます。

完全死するのは、「己と家族と仲間と自国の幸せのみをどこまでも追及し、敵対するものたちを排除・抹殺し続けた者たち」ですから、完全死しないように導くとは、「敵対するものたちに愛を注ぐことができる善想念に満ちた霊体に導くこと」に他^{ほか}なりません。

皆さんは、3 代目第一霊を目指して修行中の銀河霊たちですから、敵対する人たちや嫌いな人に対しても愛を注ぐ訓練をすることは必須課題なのです。

しかし、何事にも飽和点と言う限界があります。限界を超えた修行・実践は精神が壊れ危険ですから、自分なりのペースで実践していただく。

* 1

と。

以上をまとめると、

天使たちにも嫌いな人はいます。そして、このような人たちに出会ったときは、天使たちは、この「嫌いだ」と言う感情をできるだけ小さくするよう努めることによって心を整えています。ただし、限界を超えないよう注意しながら。

天女たちの意見 「嫌いな人にも愛を注ごう」と言う表現では、ハードルが高くて挫折^{させつ}します。そこで、「第 1 巻」に、

* 2

① 周囲の車も、交通安全（ルール）を守ってくれないと己の車の安

全（＝己や家族の命）を守れない。だから、^{みんな}皆がルールを守ってくれる社会を目指そう。

② マイナスの大きな数字をプラスの符号に変えるほど、サタン（悪魔）がサンタ（天使）に変わるほど、世の中は劇的に改善される。

* 2

と書かれているように、極悪非道を繰り返す人たち（＝嫌いな人たち）が、ルールを守ってくれるようになればなるほど、地上天国が近づきます。

そこで、

- ① 大好きな人たち（仲間＝善良な人たち）から
- ② 次に、少しだけ好きな人たち（＝ちょっとだけ善良な人たち）に
- ③ 次に、善人ではないが、決して悪人ではないと思える人たちに
- ④ 次に、少しだけ悪人で極悪非道ではない人たちに

社会のルールを守ってくれるよう、かつ、彼らが得心できるよう最大限の注意を払いながら、真理と摂理の働きを説く実践（＝彼らが完全死することなく、天国に入れるようにと願う、愛の実践）を私たちは行っています。

やがて、このような善想念の波動が、⑤ 極悪非道の人たちにも届くことを願って。

五霊たちの意見 我々も嫌いな人（＝極悪非道を繰り返す人）たちに出会ったとき、「宇宙霊たちや第一霊には、嫌いな人はいないのだろうか？」と思うことがあります。

そんなとき、「第 2 巻 第 17 章 2 すべての人を許せますか？」を読み返すことにしています。そこには、次のように書かれています。

* 3

Pさんは会社に向かう途中、夜勤^{やきん}疲れから居眠り運転をしていたQさんの車に撥^はねられ、両手両足を骨折する全治6ヵ月の重傷を負って入院していました。

入院生活が2ヵ月ほどになっていました。Pさんはベッドに横になりながら、見舞いにきてくれた友人が置いて行った「虹の掛け橋」を読み始めました。読み終わったところで「もし、仏が私の立場だったらQさんを許せるのだろうか？ 仏はすべての人を許せるのだろうか？」という疑問が湧いてきました。そこへ仏が姿を現しました。

仏 Pさん。その質問は自分自身に問うことです。

P それは「自分はQさんを許せますか？」と問いなさいと言うことですか？

仏 そうです。

P Qさんは、何度も見舞いにきてくれていますからとても誠意のある方ですし、疲れた体を押してまで仕事をするほど真面目^{まじめ}な方です。ですから、この事故の加害者と被害者の関係でなく出合っていたなら、とても良い友達になっていたと思います。

しかし、傷が痛み出すと「もしも、Qさんがその日夜勤をしなければ、居眠り運転をしなければ、車の運転をしなければ、・・・・・・しなければ」と思い、終い^{しま}には「もしも、Qさんがこの世に生まれてこなければ、私がこんな事故に巻き込まれることはなかったのに」と思うのです。

Qさんを許したい、いや、許さなければいけないと思う一方、決して許せないと言う気持ちも心の中に存在しているのです。

このように、許せないと言う気持ちが残っている以上「Qさんを許せますか？」という問いには「できません」と答えるしかありません。しかし、この気持ちは私自身の心をととても苦しめているのです。

仏 「第15章 3 ノアの箱船を人に譲れますか？」のところを開い

てください。後ろの方に、次のようなイエスのたとえ話が書かれていますね。

＊

ある人に息子が 2 人いたが、彼は兄のところへ行き「子よ、今日、ぶどう園へ行って働きなさい」と言った。兄は「いやです」と答えたが、後で考え直して出かけた。弟のところへも行って、同じことを言うと、弟は「お父さん、承知しました」と答えたが、出かけなかった。この 2 人のうち、どちらが父親の望みどおりにしたか、と。

＊

「人を許すこと」とは「ノアの箱船を譲ること」や「(体がくたくたに疲れた状態であっても、友・隣人・イエスに代わって) ぶどう園へ行って働くこと」と同じです。ですから、このたとえ話は次のように読み替えることができます。

神は、兄のところへ行き「あなたを傷付けた Qさんを許せますか？」と尋ねた。兄は「許せません」と答えたが、何度も頭を下げ謝っている Qさんの姿を観て考え直して許した。神は弟のところへも行って、同じことを尋ねた。弟は「許せます」と答えたが、傷付けられた腕と足の機能が元に戻らないと聞いて許せなかった、と。

「すべての人を許せますか？」という質問も意味がないのです。返ってくる答えに意味がないからです。なぜなら、命を懸けると言う思いを口に出すことを我慢^{がまん}できる人でなければ、本当に命を懸けることができないように、本当に人を許せる人は、その思いを軽々しく口に出さないものなのです。ですから、口から出る「許せます」と言う言葉には欠片^{かけら}ほどの重みもないのです。

人間にはイエスのたとえ話の兄と弟の心の両面が備わっているので

す。これらの心は交互に訪れるのです。それが人間なのです。誰もが許しを請う側に立つことも、そして許しを請われても許せないと答える側に立つこともあるのです。

ですから、許しを請う人を許し、許しを請われても許せないと答える人を許すことができるように、お互いに努めてゆくことが大切なのです。

信仰の良いところは「人を恨んでいる気持ちがある」と言うような己の心の紋様に気づき、これを反省し、できるだけ恨む気持ちを小さくしようと努める力・心が働くことです。ですから、Pさんのように「許せないと言う気持ちが自身の心をととても苦しめていること」に気付くことが大切なのです。

* 3

と。

このたとえ話と同じように、「嫌いな人はいますか？」言う質問も意味がないのです。返ってくる答えに意味がないからです。なぜなら、命を懸けると言う思いを口に出すことを我慢できる人でなければ、本当に命を懸けることができないように、嫌いな人がいない人は、その思いを軽々しく口に出さないものなのです。ですから、口から出る「嫌いな人はいません」と言う言葉には欠片ほどの重みもないのです。

大切なのは、お互いに、嫌いな人を少なくするよう努めることと、嫌いな人がいると言う感情を理解してあげる寛容^{かんよう}さを持つことだと考えます。

宇宙霊たちの意見 「嫌いな人を無くす^な」と言う実践は、第一霊になるための必須課題であるとは言え、我々にとっても、最難度レベルの課題です。銀河霊である皆様にとっては、なおさら困難な課題でしょう。でも、だからと言って、実践できるよう努力しなければ、現在

の地上世界が示しているように辿り着く世界は、嫌いな者たち、敵対する者たちを排除し抹殺^{まつさつ}し続ける戦争・地獄の世界です。

何が言いたいかと言いますと、先に天女さんたちが語っているとおり、❶～❺と、ステップを踏んで徐々に地上天国を目指すことをお勧めします。ただし、限界を超えた修行・実践はしないよう注意しながら。

私たちも、「第一霊界へ続く螺旋状の階段を、昨日は3歩進めたのに、今日は3歩下^さがってしまった」と言う経験を何度も味わってきました。

しかし、振り返ると、3歩下がること（挫折）には意味があったのです。たとえば、なぜ挫折する結果を招いたのか？、どうすれば、前に進むことができるのか？ 自分に不足している霊力は何なのか？ など、解析し工夫することによって、霊力を向上させることに繋がっているからです。

では、どうすれば嫌いな人を無くせるのか？ 戦争を止^とめることができるのか？ 領土がもっと欲しいと言う人の欲望を小さくできるのか？

これらの課題の解決策を見出すことは、銀河霊である皆様には困難なことばかりです。

これらの答えを、数十兆年以上生きている孝ちゃんは、「虹の掛け橋」の中で次のように語っています。

* 4

(1) 人とできるだけ争わない、敵（＝嫌いな人）を作らないこと。敵を作れば作るほど、彼ら（敵）は皆様の幸せを邪魔する（皆様が不幸になるほど喜びを覚^{おぼ}える）悪^{あく}霊（＝悪^{あく}霊・怨^{おん}霊）団そのものになってゆくから。同時に、皆様自身も敵の不幸を願う悪^{あく}霊と化し、

心も目の前の現象（職場・学校・家庭等）も地獄。このような心では、天国に入れない。

そこで、身近なところから友達の輪を広げてゆくこと。常日頃から周りの人には親切にし、優しい言葉を掛け、そして真心で接することが大切。かつ、敵を作らないほど豊かで幸せな人生となってゆく。さらに、人の悪口は言わないよう訓練すること。なぜなら、悪口は「私はこの人の不幸を願う悪霊です」と語っているようなものだから。そしてこれらの実践は、心の修行に繋がっており、かつ、世の中の紛争を激減させ平和と調和と秩序を齎してくれる。

（２） 敵と認識していた相手は実はその素は、とても素敵な仲間・銀河霊である（もし、敵と言うものが存在するならば、それは己の心に芽生えてくる悪想念）。だから相手を労わり助けあって生きて欲しい。

（３） 愛し合う（愛を注ぐ）ことは互いの霊格向上に繋がり、これを応用すれば、地上で生じている問題・課題の大部分を解決できる。言い換えれば、これが問題解決の無限角形的方法（誰もが納得できる最良の結果を齎してくれる方法）です。

（４） （「やったことは必ずやり返される」と言う「逃れることのできない真理と摂理の働き」により）空爆は、未来の自分や家族や恋人や友人や親族の頭上（住居）に、破壊・恐怖・苦しみ・災い・絶望・不幸と言う爆弾を落とすこととイコールで、自分と家族と恋人と友人と親族の未来（霊界での生活と来世）は破滅的である。したがって、爆弾ではなく、互いにこれに相当する金額の食糧・水・衣類・医薬品等の生活必需品（＝愛・喜び・希望・幸せ）を、相手（国）の空

き地に投下する。これが戦争を止める無限角形的方法。つまり、この宇宙では理想的解決方法に2つ目が存在しないように創造されているため、この方法以外戦争を止めることができないことを人類の皆様は学ぶことになる。

(5) 霊界の銀河霊から「領土問題に現^{うつ}を抜かす人は、ウイルスたち（癌細胞や病原菌を含む：以下同じ）との戦いに終止符を打てないのはなぜですか？」と質問を受けましたので、皆様に得心して頂けるよう細心の注意を払いながら説明させていただきます。

この理由には、因果律と言う摂理の働きが関わっています。

地球を上空から観ると、国境線はどこにも描かれていません。これは、人類が欲望丸出しで血みどろの戦いを繰り返してきた結果、地球儀や地図上に生まれた、神仏たちが目を背けたくなる醜^{みにく}い図形（線）なのです。

地球は本来、地上の全生命体の共有財産です。太陽が光を注ぎ、天が雨を降らせて海や川を創り、植物プランクトンたちが酸素を生産し、愛に満ちた宇宙の営みによってオゾン層が形成され、命^{ささ}を捧げる生物たちの愛を受けて（食して）、初めて人類は地上で生活できるのです。

もし、占有・領有権が存在するのであれば、人類にではなく「地球本体＝地球と言う名の惑星霊体」にあるべきです。

これらの実相を多くの人たちが自覚できていないため、血塗^{ちぬ}られた戦^{たたか}いで勝ち取った領土は、自分たちの意のままにできると思い、地中に穴を開け、核実験を行うなどして地球を傷つけているのです。

領土問題に現を抜かす方は「自分の身体^{からだ}の所有権は自分にあるから、自分の意のままにできる」と考えているようです。一方、地球は地上の全生命体の共有財産であることが認識できている第一霊体になった者は「身体（お金や知識や時間も）は、周りの生命体を幸せにするた

めに天から授^{さず}かったものであるので、所有権があるとすれば天地宇宙にある」と考えています。

したがって、前者の中には、身体に良くない物を食し、煙を吸い、覚醒剤^{かくせいざい}を打って、好き放題の方もおられます。しかし、後者は、心身のメンテナンスを心掛け、**and** 脳を愛し、髪を愛し、目を愛し、耳を愛し、鼻を愛し、^{くち}口を愛し、舌を愛し、^{のど}喉を愛し、声を愛し、手足を愛し、全臓器を愛し、姿を愛し、・・・・・・、そして、すべての細胞→分子→原子に至るまで無上の愛を注いでいるのです。(ここで補足説明しますと「虹の掛け橋」は第一霊体を身につけるための遺伝子情報が書かれた本ですから、下線部の実践は、皆様が霊界と宇宙の隅々に愛を放射するための霊力を身につける、実践訓練課題になっています。)

愛したものは愛されるという摂理の働きにより、第一霊の全細胞は第一霊に愛を返し、そして第一霊の身体を形成できる細胞（や臓器）として存在できることに無上の喜びを感じながら命が尽きるまで働き（活動し）ます。

一方、前者は、身体にウイルスたちが侵入してくると、自分の身体の所有権を主張し、免疫細胞^{めんえき}を総動員して攻撃します。すると、この行為によって因果律の摂理が働きはじめます。つまり、前者は、地球が地上の全生命体の共有財産であるにも拘^{かかわ}らず、^{あと}後から地球にきたのに占有権が我にありと勘違^{かんちが}いして、その権利を主張する方ですから、この考えが誤りであることを悟らせるため、体・細胞に侵入したウイルスたちも、人類の姿^{うつ}を映す鏡となって、後から体内に入ってきたのに、身体^みの占有権は我にあると主張しはじめます。そしてどこまでも増殖^{ぞうしょく}しながら領土を広げることに現を抜かす道を歩み続け、宿主（＝前者）を倒して、人類の絶滅を願う霊体たちから膨大^{ぼうだい}な感謝の念を受け、喜びの中で己も死^{むか}を迎えるのです。皆様には耳に痛いかも知れませんが、あえて表現するなら、ウイルスに冒^{おか}された体内は、領有権を

主張し合うもの同士（人類 and 医学と、ウイルス）が際限なく争う、自業自得と言う因果律の摂理のなせる業・世界です。このため、人類は摂理の担い手であるウイルスたちとの戦いに終止符が打てないのです。

しつこいようですが、対照的に、後者は、身体は天地宇宙のものであると考えていますので、侵入してきたウイルスたち（の命）も（摂理の担い手^{にな}として存在理由のある：天から存在を認められている）天地宇宙のものであると認識し、1つの身体を、天から存在を平等に認められているもの同士で、共有する道を選択し、ウイルスたちに無上の愛を注ぎます。すると、この行為によって因果律の摂理が働きはじめます。つまり、ウイルスたちは第一霊レベルの霊体が発する究極的な愛にのみ感応^{かんのう}する霊耳^{れいじ}を持っていますので、愛を受け取った霊体は、霊格が向上すると言う真理と、愛を返すと言う摂理の働きによって、ウイルスたちは第一霊に無上の愛を注ぎながら、身体・細胞を共有する道を選択します（第5巻参照）。このため、ウイルスたちとの戦いに終止符が打てるのです。

そして、神仏の目で捉^{とら}えたとき、領土問題に現を抜かす方は、地上世界を核戦争の恐怖にさらす＝全生命体の絶滅の危機を招く恐れのある反真理的行為者ですから、地球（惑星霊）にとって、いや、全生命体にとって、ウイルス霊的存在と言え、犯している罪は途轍^{とてつ}もなく重いのです。これが実相・反真理の姿です。

ですから、人類は、今までのように、自分たちにとって都合の良い世界を目指して欲望や感情に任せ^{まか}て行動するのではなく、これからは、地上世界は心を磨くための修行道場であることを認識したうえで、己の言動が周囲にどのような影響を与え、その結果、どのような事態を招く可能性・危険性があるのかを、よくよく吟味^{ぎんみ}したうえで行動すべきです。

さらに、誤解を恐れず付け加えるならば「霊界と物質界の宇宙は、周りの生命体を幸せにするために活動する・生きるものたちのみが共同生活を許されている神聖な場・世界」なのです。

(6) 悪人(罪人)を救えない宗教(神仏の教え)は宗教ではありません。

(7) 【シルバーバーチ君の言葉】

忌み嫌われている文字を使ったことのどこが素晴らしいのか。
「仏」「魂」「サンタ」「完全」「翼」「主」「母」の文字を使えば神仏の教えを説く物語を創ることは容易い^{たやす}いのです。利用し易い材料を使ってでき上がっているものでは人々に与える感動は小さいのです。最も利用困難なものを使って、しかもその物語が人知を越えるほど美しいとき、人々は真に感動するのです。この観点で捉え^{とら}えると「鬼」「サタン」「害」「罪」「毒」は神仏から最も遠い存在ですから、誰も利用せずにいつまでも残される材料です。この材料を彼は選び愛の光を注いだのです。

(8) 【バーバネル君の言葉】

誰からも強^しいられることなく、自ら彼の教えを選択し学んだ我々銀河霊は、まず、すべてのものに愛を注ぐ実践を始めます。これは己の霊格を向上させる目的を持ったものですが、次第に目的意識は薄れ、飢えている人、寝る場所もない人、病に苦しんでいる人、救いを求めている人がいるから愛の手を差し伸べるのだと、自然に体が動くようになります。

その結果、飢えている人たちが満たされてくると、今度はこの人たちに重要な役割を担^{にな}わせることによって、生き甲斐^{がい}と言う命を付与し

たいと言う強い衝動^{しょうどう}に駆^かられ、愛と知恵と勇氣と希望からなる善想念で答えを探り始めます。

真摯^{しんし}に探り続けていると、不思議なことにやがて答えの方から近づいてきて、答えが示す方法を実践することによって、この人たちに生き甲斐と言う命を付与する靈力が身につきます。

この実践の場は、生命体から物質界、そしてやがては概念の世界のものたちへと広がってゆきます。

こうして、我々銀河靈は彼の教えを実践しているうちに、知らぬ間に概念のものたちに躍動^{やくどう}ある命を付与できる靈力、つまり、概念のものたちを素材として生き甲斐を持った命に満ちた靈界と宇宙を創造するために必要な靈力が身についてくるのです。

このようなことから、我々銀河靈は「虹の掛け橋」に書かれている教えを実践していれば、人の一生の時間レベルで自然に靈界と物質界の宇宙を創造できる靈力を身につけ、大靈となることができると確信しているのです。

皆様も聖なるものから最も遠い存在にまず愛を注ぐことから始め、次第にこのものたちに生き甲斐と言う命を付与したいと言う強い願いを抱^{いだ}きながら心を満たしていれば、宇宙を創造できる靈力が養われ、人生を終えて靈界に来られたとき、速やかに大靈の靈力を発揮できるようになる筈^{はず}です。

と。

私とネイム これらの内容を参考に、「嫌いだ」と言う感情をできるだけ小さくするよう努め、靈界と地上の全銀河靈で協力して、地上天国を目指してくだされば、と思います。

第 57 章

「小さい人、弱い人、不幸な人」が、
地球（＝人類）の危機を救う

Q&A その 5

～Q7 と Q8

Q7 先の A6（回答）で、次のように書かれた箇所があります、

＊ 1

初代第一霊の第 1 回創造時では、期限内に宇宙霊レベルに到達できなかつた霊体は完全死を迎えます。この完全死した霊体を第一霊に導くため、初代第一霊は再び期限付き道場を創造します。しかし、期限内に第一霊に到達しなかつた霊体は完全死を迎えます。この完全死した霊体を第一霊に導くため、2 代目第一霊は期限付き道場を創造します。

このように、前第一霊の怒りに触れた者たち（たとえば、己と家族と仲間と自国の幸せのみをどこまでも追及し、敵対するものたちを排除・抹殺し続けてしまった者たち）と、前第一霊の霊力をもってしても救えなかつたものたちを、未来の第一霊に導くための道場の創造行為が、次の第一霊たちによって無限に繰り返されます。

＊ 1

と。

つまり、初代第一霊の霊力をもってしても救えなかつたものたちを救うために、2 代目第一霊は霊界と物質界の宇宙を創造します。そして、初代と 2 代目第一霊が救えなかつたものたちを救うために、3 代目第一霊は霊界と物質界の宇宙を創造します。同じように、初代～（n－1）代目第一霊が救えなかつたものたちを救うために、n 代目

第一霊は霊界と物質界の宇宙を創造することになります。

ここで疑問に思うのは、初代～（n－1）代目第一霊たちの霊力を総動員しても救えないほど深刻なもの（霊体）たちを、n代目第一霊が救うことができるのでしょうか？

A7 確かに、初代～（n－1）代目第一霊たちの霊力を総動員しても救えないほど深刻なもの（霊体）たちであったならば、n代目第一霊がどれほど頑張ったところで救えないでしょうね。

でも、質問者が心配する、このようなこと、つまり、初代～（n－1）代目第一霊たちの霊力を総動員しても救えないほど深刻なもの（霊体）たちは存在しないのです。それはどうしてなのか？ その理由を説明してゆきます。

ここで、皆様が想像できる極悪人の1人、Aさんに登場していただくことにします。

Aさんが次の①～⑤の罪を犯し、死んで霊界に戻ってきたとします。

- ① 10人の命を奪った。
- ② 10人の顔に熱湯を浴びせ大火傷を負わせた。
- ③ 10人の手足の機能を奪った。
- ④ 10人の視力を奪った。
- ⑤ 10軒の家に放火し全焼させた。

Aさんは銀河霊（人類）ですから、霊界に戻ってくると類魂の仲間たちから、「Aさんの罪は、真理と摂理の働きに関して無知であった、心の無明さから生まれたものだから」と、優しさの籠った言葉で慰められます。・・・・・・やがて、類魂の中のBさんが地上に降誕して、Aさんに代わって、罪を償っている光景を目にします。す

ると、Aさんは魂の目覚めが原動力となって、類魂全体の幸せのために、身命^{しんめい}を捧げながら、天使のごとく善行^{ささ}に励む^{はげ}ように変わります。

もし、Aさんが懺悔しなかったら？ 天使（善人）に変わろうとしなかったら？

そのとき Aさんは銀河霊界から追放^{ついほう}され、人霊界や動物霊界に落ち、Aさん自身でこれまでの罪を償うことになります。しかし、Aさんのような極悪人でも、数万年の地獄の苦しみの中で（＝「地獄は、もう、やだー」となり）懺悔の心が次第に芽生え^{めば}、天使（善人）に変わろうとするものなのです。

もし、皆様の中で、「極悪人が善人になるの？」と疑問を持たれる方は、数万年間、地獄で過ごす体験をされてはどうでしょうか？ そうされれば、きっと、ご理解いただけると信じます。

それでも想像力が乏^{とぼ}しくて、信じられないと言われる方は、数万年間、手足を切断された姿で、あるいは、顔に大火傷を負った姿で、過ごす人生を想像してください。

（余談ですが、霊体は上位の世界には入れませんが、下位の世界（たとえば地獄）には自由に入れます。何が言いたいかと言いますと、以前、「地球には、銀河霊だけでなく、恒星霊や惑星霊も住んでいるのですか？」と質問されたことがあります。地球は恒星霊や惑星霊にとっては、上位の世界ですから、人間の姿で住むことはできません。ですから地上の人間はすべて銀河霊以上の霊体なのです。以上に該当する霊体は第一霊。）

ここで、現実的な話をします。それは、Aさんが地上で①～⑤のすべての犯罪を達成することは不可能と言うことです。なぜなら、①数人殺めた^{あや}ところで、⑤数軒、放火したところで、警察に捕まって拘束^{こうそく}されてしまうからです。

では、動物霊以下の霊体では？ Aさんほどの悪業^{あくごう}を働く霊体は、全宇宙^{くま}を隈なく探しても存在しません。なぜなら、動物霊以下の霊体は悪意をもって、殺人も放火もしないからです。

では、全人霊界と全惑星霊界では？ これらの世界は、自身が犯した罪の報い・天罰^{すみ}を速やかに受ける世界ですから、①1人殺めた時点^{ひとりあや}で天罰^{くだ}が下り、以後、決して人を殺めてはいけないと言う懺悔の心が芽生えてきますので、Aさんのような極悪人は存在しません。

全宇宙で、つまり①数人、殺め、⑤数軒、放火する、Aさんのような極悪人が存在するのは、現在の地球だけなのです。

しかも、空爆は、上記①～⑤の全犯罪を一瞬^{いっしゅん}ですしているのです。

この問題は、深刻でとてもデリケートですので、細心の注意を払いながら説明を続けます。

C国のDさんがEさんに命じて、隣のF国を敵視し、そこを空爆するよう命じ、Eさんが数十回空爆を続けた結果、F国の

- ① 100万人が死に。
- ② 100万人が大火傷を負い。
- ③ 100万人が手足を失い。
- ④ 100万人が失明し。
- ⑤ 100万人が家を失った。

そして、この空爆を支持したC国民1億人がいたと仮定します。

「この空爆は、自国を守るため必要だったという言い訳」が最大限考慮されたとしても、多くのF国民に深い悲しみと痛みを与えておりますので、DさんとEさんと空爆を支持したC国民が、この罪の報いから逃^{のが}れることはできません。もし逃れることができてしまったならば、空爆の応酬^{おうしゅう}に歯止めがかかりませんので、いつになっても地上に、平和も調和も秩序も訪れないからです。

では、DさんとEさんと空爆を支持したC国民が死んで霊界に来

た場合、どうなるのでしょうか？

彼らは、「皆さんの罪は、真理と摂理の働きに関して無知であった、心の無明さから生まれたものだから」と、優しさの籠った言葉で慰められます。・・・・・・やがて、彼らの類魂たちが地上に降誕して、彼らに代わって、罪を償うことになります。ところが、罪が重すぎて、彼らの類魂たちだけでは手に負えないため、1000億の2乗数の全銀河霊に助けを求めることになり、全銀河霊で協力して罪を償うことになります。これが実相の姿です。

つまり、地上で起きている戦争は、すべてこのような空爆を伴うものばかりですから、全銀河霊の一員である皆様にも、戦争によって生まれた罪の報いを背負う場面がくることになります。

これを聞いて、恐怖に震^{ふる}えないことです。それはどうしてか？ その理由をこれから説明してゆきます。

どうして、DさんとEさんと（空爆を支持した）C国民が、空爆・戦争と言う罪を犯してしまったのか？ or 犯してしまうのか？

それは、死後の天国と地獄の存在を知らないことや、やったことの報いを髪の毛1本ほども軽くでないことや、輪廻転生^{りんねてんしょう}の存在を知らないことなど、真理と摂理の働きに関して無知であることが主原因です。ですから、皆様だって、真理と摂理の働きに関する知識に出合っていないなければ、彼らと同じ罪を犯す可能性がありますので、犯した罪を償い合う、銀河霊界の契約は、（数百億年修行を続けてやっと銀河霊になった）全銀河霊にとって必要（かつ、安心な保険）なのです。

では、皆様に割^わり振^ふられる、戦争によって生まれた罪の報いに、どう対処したら良いのか？

罪の報いを受ける（罪を償う）方法は、大きく分けると2つ（①と②が）あります。

① 相手が受けた苦しみと同等の苦しみを受けて罪を償う。

② 善行によって、苦しみと反対のベクトル（大きさ）で周囲の霊体に喜びを^{もたら}す形で罪を償う。

です。

ですから、皆様には、②を選択されることをお^{すす}勧めいたします。

でも、②も多少の痛み・苦しみを伴います。なぜなら、早朝からの空き缶拾いは、眠いし疲れます。寄付・募金は、自身の生活を切り詰める自己犠牲の痛み・苦しみが伴います。戦争反対や平和を呼びかける行為は、政府に拘束^{こうそく}される危険（痛み・苦しみ）があります。このように善行も、痛み・苦しみに耐える覚悟が必要になります。

それでも私が、②を勧めるのは、①は、いやいやながら・受動的であるのに対して、②は痛み・苦しみを覚悟の能動的行為で、かつ、周囲の霊体から感謝と言う善想念が送り返されて来るからです。

空爆と言う罪を犯した人たちでさえも、類魂たち、いや、全銀河霊たちが代わりに罪を償っている光景によって、善人（天使）に変わってゆきますので、当初の質問、初代～（ $n-1$ ）代目第一霊たちの霊力を総動員しても救えないほど深刻なもの（霊体）たちは存在しません。

参考までに、 n 代目第一霊が救うべき対象は、主に、「自身が新たに創造した霊体たち」です。

Q8 領土問題は、中国と周辺国との間だけではなく、世界中に存在します。これらすべての領土問題は、「世界中で^{シエシエ}謝謝（ありがとうの意）と^{とな}唱えること」で解決できるのでしょうか？

A8 中国と周辺国との間の領土問題が、「謝謝と唱えること」によって解決するためには、前提となる条件がいくつかあります。なので、

本件は、そこから説明させていただきます。

【前提条件 1】

「虹の掛け橋」が世界中の人々に読まれ、かつ、真理と摂理の働きに関して、正しく認識されていること。これはイコール、霊界（天国と地獄）と、輪廻転生と、「善因善果、悪因悪果」の摂理の存在が正しく認識されていることが大切・基本です。

言い方を変えると、「死んだら終わり。だから、この現世で快樂を味わい尽くそう。自身の利益が最優先（自分や家族や自社や自国ファースト）。他人がどうなろうと知ったことではない。」と考えるのではなく、「地上での善行・悪行が正しく評価されて、霊界と来世の生活が、天国 or 地獄になるのかが決定されるので、善行に努めよう。」と考える人が大多数を占める世の中になること。

【前提条件 2】

I S（イスラム国；敵対する国や民族も同じ）問題が、彼らへの、食糧・水・衣類・医薬品等の生活必需品（＝愛・喜び・希望・幸せ）の提供と、ライフラインの整備（メンテナンス方法を含む建設技術も伝授）等によって解決されていること。（未解決のままでは、謝々と、いくら唱えても、中国と周辺国との間の領土問題は解決できません。）

【前提条件 3】

なぜ中国は、国土を広げたり、軍事力を増大させたりしようとするのか？ その理由は、「どこまでも軍事力・国力を増大させようとする力、世界一豊かな国あるいは完全性を求める力、異常に発達した自己向上欲」が原因。このため、周辺の国々や人々からの不満の声を強力な軍事力でねじ伏せる実績が、不幸にも、中国人にとって、世界一

への達成感になっている。しかし、これには、軍勢力が脆弱^{ぜいじゃく}だった時代に、複数の、とっても面積が小さな国々に、大切な国土を占拠^{せんきょ}され惨^{むご}い仕打ちを受けた背景があること。)を正しく理解すること。

【前提条件 4】

謝^{シエ}謝^{シエ}（ありがたいの意）をどのように唱えるのか？

* 2

それは、イメージの世界で、幼児期になって、すべての中国人に向けて「シエシエ」と唱える。

少年（少女）期になって、すべての中国人に向けて「シエシエ」と唱える。

青年期・壮年期・老年期・終末期になって、すべての中国人に向けて「シエシエ」と唱え、イメージの世界で人生を閉じる。所要時間は10分。

つまり、皆様は人の一生の時間レベル 100 年をすべて、中国人に向けて「シエシエ」と唱えながら過ごし人生を閉じたのです。他のことは一切しなかった、そんな人生。

「シエシエ」、この言葉から生み出された善想念で宇宙が満ちてゆきます。

この光景を観ている天から皆様お1人おひとりに、膨大な福德が届けられます。

この福德を自ら受け取るのではなく、すべての中国人が幸せになっていただくために使ってくださいと天に祈ります。

やがて、すべての中国人と皆様が共に天から注がれる光輝に包まれ、地上に存在するすべての蟠^{わだかま}りが解^とけてゆきます。

所要時間は5分、合計で15分。

* 2

と言う感じです。

【前提条件 5】

謝謝と唱えることによる、次のような効果（①～⑨）を理解する。

- ① 誰も傷付いたり不利益を被^{こうむ}る者はなく
- ② すべての者を癒^{いや}し
- ③ 蟠りを解き
- ④ 心を浄化し
- ⑤ 霊格の向上を促し
- ⑥ ベッドの上で横になっている者でも実践可能で
- ⑦ 予算も掛からず
- ⑧ 短時間（15分）で成就させている
- ⑨ 恒久的解決方法

だから。

上記の、【前提条件 1～5】を正しく理解し、世界中の人たちが協力して実践した結果、中国と周辺国との間の領土問題が解決した^{のち}後に、初めて、世界中に存在する領土問題に着手可能になります。なぜなら、I S問題と、中国と周辺国との間の領土問題が解決できるほど、地上人類の霊格が向上していなければ、他の領土問題を解決するのは困難です。

ですから、ここからは、I S問題と、中国と周辺国との間の領土問題が解決した成熟した世界での話、として聞いてください。

このような成熟した世界では、私がアドバイスすることはありません。世界中で生じている領土問題は自動的に解決してゆきます。

では、どのような形で？

このような世界は、イコール、「虹の掛け橋」に書かれている主要

な真理と摂理に関しては、暗唱^{あんしょう}できるほど浸透した世界、つまり、どの真理と摂理を応用・適用すれば解決できるのかが、理解できている世界ですから、領土問題が発生すると、

① 「大きい方、好ましい方、楽な方を人に譲り合う」と言う真理。
と

② 「自分よりもすでに幸せな人が、更に幸せになってゆく姿を心から祝福できる境地」＝「小さい人、弱い人、不幸な人」が、「大きい人、強い人、幸せな人」を背負う・助ける、成熟した世界を目指す、
と言う真理

が、適用され、互いに譲り合う形で解決してゆきます。

さらに付け加えると、互いに（＝すべての人が）、①と②の精神（善想念）で臨めば^{のぞ}、地上で起きている多くの問題が、誰もが納得できる最良の結果を齎^{もたら}す形で解決されてゆきます。

なぜなら、「小さい人、弱い人、不幸な人」が、「大きい人、強い人、幸せな人」に、「大きい方、好ましい方、楽な方を譲る」行為、これが紫金律^{しごんりつ}だからです。

この紫金律は、藍金律^{らんごんりつ}～赤金律^{せきごんりつ}へ繋^{つな}がっており、かつ、霊界と物質界の宇宙を生み出した白金律^{はくごんりつ}から生まれた最初の真理なのです。

なので、いかなる状況でも、紫金律を実践しようと努めていれば、宇宙霊体に自然に進化できますし、やがて、霊界と物質界の宇宙を創造できる第一霊の霊力が身につきます。言い方を変えると、第一霊（未来の創造主）へと続く螺旋状^{らせんじょう}の修行の階段を登りきるためには、紫金律は、避けて通ることができない、必須実践課題なのです。

なお、「虹の掛け橋」をここまで読まれた皆様には、お節介^{せつかい}な話かと思いますが、「紫金律とその先の白金律が実践でき、第一霊格に辿

り着いて道半ばである」と、^{とうごんりつ}橙金律で自身を^{いまし}戒め、戒め過ぎて息苦しく感じたら、「限界を超えた実践はしない」と、余暇を楽しんで、心を整えると言った具合に、自由自在に、真理と摂理を適用していただければと思います。

ところで「紫金律」は、「第 6 巻」で皆様に投げかけた難問レベルの公案でしたから、自力で答えに辿りつけた方は、五霊レベルの霊格・霊力・治癒力・霊界通信力を身につけたと判断してよろしいかと思えます。

最後に、お節介ついでにお話しすると、第一霊（創造主）が創造した世界には、理想的解決策に 2 つ目は存在しませんので、紫金律以外、領土問題が解決できないよう、宇宙が創造されております。

疑うのであれば、世界中の皆様で、協議して、最善と思われる方法を探し出して試してください。やがて、手段が尽き、皆様は必ず「虹の掛け橋」に戻ってくることになります。つまり、誰もが、紫金律が実践できる宇宙霊レベルの霊格者・霊力者にならなければ、領土問題は、解決できないことを知ることになります。

ついでに（参考までに）お話しすると、紫金律を実践しようとしなない者は、領土問題等で敵対する者たちと殺し合う世界で、無限に輪廻転生を繰り返すことになります。

一方、紫金律を実践できるようになった者には、宇宙霊体の愛と知恵と勇気と希望と霊界通信力と治癒力と言う霊力がプレゼントされます。

なので、賢明な霊界の銀河霊たちは、これを^{はげ}励みに^{ななころ}七転び^や八起き^おの^き気概^{がい}で紫金律に^{いど}挑んでおります。

第 58 章

戦争が絶えない世界でも、
平和と調和と秩序を目指して、摂理が働いている

Q&A その 6

～Q9～Q11

Q9 「第 4 巻 第 34 章 6 大霊となつてからの世界」で次のように書かれている箇所があります。

＊ 1

（次の）第一霊は、彼がとつた行動をできるだけ模倣^{もほう}しながら行じます。つまり、悟った内容を「虹の掛け橋」（ペンネームは宇都宮大地）に書き、そこに「公案」を盛り込みます。できあがった「虹の掛け橋」は皆様がご覧になっているものと概ね同じです。

＊ 1

と。

さらに、「第 5 巻 改訂版 第 44 章 初心に戻る」で次のように書かれています。

＊ 2

ノア 先生、私たちは先生のごじゃっぺ話（冗談話）が聞けるこの「最適難度＝最高難度クラス」に入るために猛勉強（＝心を浄める修行を通して霊力を高めて、多くの霊体を幸せに and 公案を解くことを）してきたのです。

＊ 2

と。

銀河霊界大学院博士課程最高難度クラスに入るために、そして、や

がて 3 代目第一霊として地上に降誕したとき、初代第一霊が書いたものと概ね同じ「虹の掛け橋」を書くことになるため、膨大な「虹の掛け橋」を暗唱できるほど憶える必要があるのでしょうか？

A9 はい、あります。

質問者 えーえ！

私 あははは。冗談です。暗唱する必要は全くありません。私が霊界と物質界の宇宙を創造した際の設計図となる 200 ほどの真理（特に根幹的真理である赤金律～白金律）と、この真理を成就・定着させるために自動で働く摂理を憶えれば十分です。

その理由は次のとおりです。

① 私が霊界に戻ってから、「虹の掛け橋」を恒星霊や惑星霊や人霊たちに説くために、これを 10 億年ほど掛けて書き直します。ですから 10 億年後の「虹の掛け橋」は今のとは比べ物にならないほど、たとえ話も公案も冗談話も充実している筈ですので、現在の「虹の掛け橋」を暗唱できるほど憶えることは全く無駄な作業となります。

② ネイム君を主人格とする 2 代目第一霊も、さらに 3 代目から n 代目第一霊も、私と性格も趣味も嗜好品も特技も異なりますので、「虹の掛け橋」は、そのときの第一霊によって異なってきます。

③ 銀河霊界大学院博士課程最高難度クラスに入るための条件は、霊格・霊力が基準を満たしているかどうか、つまり、恒星霊～物資や想念たちに、霊格向上を促す適切なアドバイスをしてきたかどうか、あるいはできるかどうか、その実績と実践力が問われますので、主要な真理と摂理の働きについては憶える必要がありますが、憶えた真理と

摂理の働きを実際の場面で適用できるかどうか主チェックされます。

丸暗記に頼っているだけの者では、初めて出会う場面・試練に適応できず、恒星霊たちの良き指導霊にはなれません。ですから知識量を計る＝「虹の掛け橋」を憶えているかどうかをチェックするための穴^{あな}埋め問題は出題されません。

要求される実績としては、恒星霊界大学院博士課程最高難度クラスで講義した経験があるかどうかですが、「虹の掛け橋」を観ながら講義可能です。

また、霊格・霊力を観るために出題される公案については、過去に出されたものが再度出されることはなく、かつ回答できるまでには数か月を要する難問であるため、回答可能になった者がレポートで提出する形ですので、この間、「虹の掛け橋」を観ながら作成できます。そして、合格点に達した者から最高難度クラスで受講可能になります。

Q10 戦争に勝利した国（国民）が敗戦国を支配し搾取^{さくしゅ}します。だから、支配・搾取されたくないため、人は勝利を目指して、あるいは自国に有利な和解を目指して、戦い・抵抗^{ていこう}します。このような、争いが絶えない光景を見ていると、神仏や、真理や摂理が存在しているのか、疑問です。このような争いが絶えない世界でも、平和と調和と秩序を目指して、摂理が働いているのでしょうか？

A10 現在の地上のように戦争が絶えない世界、そして、戦勝国が敗戦国を支配・搾取することによって繁栄している姿を見ていると、神仏や、真理や摂理の存在を否定したくなる気持ちは良くわかります。

神仏の存在については、各自の判断に委ね^{ゆだ}るとして、ここでは、こ

のような世界でも、平和と調和と秩序を目指して、摂理が働いていることをご説明いたします。

仮定で、A 国と B 国が戦争を行い、A 国は B 国の、

- ① 建物 100 万戸を壊した。
 - ② 道路 1 万箇所を壊した。
 - ③ 橋 1 万箇所を壊した。
 - ④ 発電所 10 箇所を壊した。
 - ⑤ 農地等に地雷を 100 万個埋めた。
- とします。

一方、B 国は A 国の、

- ❶ 建物 300 万戸を壊した。
 - ❷ 道路 3 万箇所を壊した。
 - ❸ 橋 3 万箇所を壊した。
 - ❹ 発電所 30 箇所を壊した。
 - ❺ 農地等に地雷を 300 万個埋めた。
- とします。

この戦争に関わった A 国民、B 国民が死んで、(輪廻) 転生する世界は、A 国民は、B 国民に、B 国民は、A 国民なのです。

つまり、互いに、自分たちが壊した建物や道路や橋や発電所を、ほぼタダ働きの形で、修復し埋めた地雷を撤去する人生を送ることになるのです。

つまり、自身の報いを自ら受ける (= 何人も罪の報いを髪の毛 1 本ほども軽くできない) という真理が守られた、誰もが納得できる摂理 (= 霊界と宇宙に存在する全霊体の総意・英知) の働きなのです。

惑星霊界や人霊界は、今の地上人類よりも霊界通信力が数万倍～

1000 億倍ほど進化した世界ですから、下線部の摂理の働きが常識と
なっていることと、人を殺めたり苦しみを与えたりすると、天罰によ
って、直ぐに、手足の機能が没収される世界ですから、相手の国を
攻撃すると言った、愚かなことをする霊体は存在しません。

皆様は銀河霊ですから、輪廻転生は 2 億年に 1 度の頻度となりま
すので、戦争に関わった人の類魂たちが、相手国民となって転生し
て、壊した建物等を修復する人生を送ることになります。

なので、地上の皆様も、相手国の建物等を壊せば壊すほど、類魂た
ち、そしてやがて皆様自身が、修復作業の悲惨な人生を歩むことにな
る摂理の実相の姿に、気づくべきだと思います。

この実相の姿を誰もが得心する形で知ることが、イコール、戦争の
抑止になると信じます。

Q11 人は病気になれば、薬を飲むし、手術となると麻酔をすること
になります。飲む薬や使う麻酔が人体に悪影響がないことを確認する
ために動物実験は欠かせません。動物たちの命の尊厳と言うことはわ
かりますが、この論理を極端に進めると、病気で苦しむ人たちを救う
ことができず、やがて人間の生命そのものを危険にさらすことになり
ます。

そこで質問したいのは、人霊界や惑星霊界や恒星霊界の地上の人間
たちは、病気や怪我と、どのように向き合っているのでしょうか？

A11 まず理解しなければならないのは、地球以外の惑星の人たち
は、地上人類ほど病気にならないし、怪我をする人も怪我をさせる人
も、とても少ないと言うことです。

その理由は？ これから語ることは、皆様にはショックな内容が含
まれるかと思いますが、耐えて聞いてください。

「霊訓」の霊界霊媒である惑星霊が「霊訓」の中で、「地球は修行の道場としては下から 2 番目に低い霊格の集まる場所」と語っており、かつ、ネイム君も五霊も天女さんたちも「そのとおりですわ」と言っていますので、これは事実です。

つまり、人霊界の平均霊格・霊力・治癒力・霊界通信力は、今の人類の数万倍で、惑星霊界は 1000 億倍、恒星霊界は 1000 億の 2 乗倍です。

ですから地球以外の惑星では、病気や怪我の根本的原因是は、「過去世に犯した罪の^{つぐな}償いが完了しておらず^{しゃつきん}借金（≡カルマ）が残っていること」と、「真理と摂理の働きに無知であるがゆえに、新たに罪を犯して借金を増やしていることである」と、理解しておりますので、これらの借金が小さくなるよう善行と^{ざんげ}懺悔の実践に努めているため、病気になる人も怪我をする人も怪我をさせる人も、とても少ないのです。

でも、何人かの人たちは、病気になったり怪我をしたりしますので、地球以外の惑星でも、^{いりょう}医療や薬は存在します。

では、どのようにして、薬（麻酔薬を含む）の安全性を確認しているのか？

まず、人霊界ですが、

植物プランクトンや微生物を使って確認しています。動物を使うと彼らに苦痛を与えますので、摂理の働きによって、動物たちが受ける苦痛が、実験者に^{ただ}直ちに帰ってくるため動物実験は実施されません。

そこで、「自分が^{なにもの}何者であるかがわかる^{じが}自我意識の有無と苦痛の有無」で線引きして、自我意識と苦痛の^な無い物たちを使って薬の安全性を確認しています。動物プランクトン以上の生命体では、彼らの類魂全体で自我意識を有し、かつ、苦痛を感じていますので、実験で使用するのは植物プランクトンや微生物となります。

実験で得られた薬の効能と副反応等の知識は、霊界通信力で、受信可能な全人霊界で共有しますので、必要最小限の実験で済ませていきます。

また、平均的な人霊界以上の世界では、霊界と輪廻転生は常識ですから、善行を実践している者たちには、死に対する恐怖心はありません。仮に^{おさな}幼くして病気で亡くなった場合は、地上での長時間の修業が免除されて、霊界（天国）へ、ミサイル or 飛行機 or 新幹線で戻りだけと考えております。

次に、惑星霊界ですが、さらに病気になったり怪我をしたりする人は少なくなります。しかしゼロではないため、医療は存在します。

ですが、地上人類が行っている治療法とは基本的に別もので、^{れい い}霊医（霊界の医者）により、ヒーリングで霊力（≡霊体の活動エネルギー）を、手足や内臓の機能を統率している霊体の部位に注入する治療法が主に用いられます。つまり、霊界の医者が地上の患者をヒーリング（霊力）で治療するのです。ただし、^{こっせつ}骨折等の怪我に対しては、^{せい}整復や外科手術が行われます。

しかし、善行や懺悔が地上人類よりも 1000 億倍実践される世界ですから、これらヒーリングや外科手術を必要とする人は極少数です。

次に恒星霊界ですが、「第 6 巻」で、

* 3

ウイルスや^{がん}癌細胞や病原菌に対しては「愛を受け取った霊体は霊格が向上する」と言う真理を応用して、彼らに愛を注ぐことによって自分たちの^{からだ}身体を守る生命体へ転換できる事例が集められ、具体的にどのように愛を注げば効果的なのか、いろいろ試され、やがて「一人ひとりの善想念を高めて、全員の善想念で宇宙空間を満たすことが効果的で、かつ費用も掛からず、平和で調和と秩序のとれた世界が、同時に建設されること」が理解されています。

* 3

と、述べたとおり、恒星霊界は、霊格・霊力の向上によって治癒力を高める方法が選択されています。このため、子どものころから善行の実践をスタートさせています。

また、地球を含めて全惑星で、子どものころから、健康を意識して、規則正しい生活と適度な運動と休息を心掛けています。

最後に、補足事項ですが、地上が^{いつそくと}一足跳びに人霊界の高級界や惑星霊界や恒星霊界に到達することは困難ですから、薬や手術は必要不可欠で、これらの安全性を確認する動物実験も欠かせない状況がしばらく続きます。ですから、全人類が、薬や手術（≡動物実験）の恩恵を受けている状況下では、「人命を救うため」という目的意識を持ち、かつ、動物たちに与える苦痛をできるだけ^{おさ}抑えるよう配慮した（動物）実験者に関しては、罪に問われることは、霊界でもありません。

ただ、動物たちに苦痛を与えていることは事実ですので、Q7 に対する A7（回答）の箇所で、「戦争による罪の報いを 1000 億の 2 乗数の全銀河霊で^{つぐな}償っている」と解説したように、動物たちが受けた苦痛を、1000 億の 2 乗数の全銀河霊で、同等の苦痛（や懺悔）や善行によって償っていることも事実（実相の姿）です。

ですが、やがて、人類の多くの方々が真理と摂理の働きに目覚め、銀河霊にまで霊格が向上すると、「（戦争や）領土問題で争う人」がほとんどいなくなるのと同様に、ほとんどの人が銀河霊体を身につけ、病気になることも、怪我をしたり怪我をさせたりすることもなくなりますので、「動物実験を行う人」も、いなくなります。

最後に、お節介な補足説明ですが、地上の皆様が病気になったり怪我をしたりしているのは、「第 6 巻」で述べているように、

* 4

他の銀河霊（＝真理と摂理の働きに関する知識の乏しい、原始時代

から現代まで、地上で、戦争による殺人・略奪^{りやくだつ}・強姦^{ごうかん}・破壊と、詐欺^{さぎ}やいじめなどの罪を犯した類魂)の代わりに苦難を味わっているから。

* 4

です。

だから、皆様が健康な身体^{からだ}を取り戻したいのなら、皆様の徳分(≡霊力)を著^{いちじる}しく低下させる主原因となっている、戦争による殺し合いを止めることが最も効果的なのです。

それと「第 6 巻」で説明しましたが、銀河霊体は、真理的行為を 10 年 20 年 30 年、健気^{けなげ}に実践してやっと身につくものですから、それまでは、医療に頼るのは仕方^{しかた}のないことだと思います。いや、むしろ積極的かつ謙虚^{けんきょ}に、最新医療を活用し、健康診断などで早期発見・早期治療によって健康を維持すべきです。

私もそうしています。

第 59 章

霊界はどこにあるのでしょうか？

それはヒ・ミ・ツです

Q&A その 7

～Q12～Q16

Q12 霊界通信力が身につく（向上する）と、いきなり霊界の銀河霊たちと通信可能になるのでしょうか？ それとも、人霊→惑星霊→恒星霊→銀河霊と、順を追って通信可能になるのでしょうか？

A12

シルバーバーチとバーバネル ^{たかちゃん} 彼 に代わって、私たちがお答えいたします。いきなり銀河霊と通信できるようになることはありません。人霊→惑星霊→恒星霊→銀河霊と、順を追って通信可能になります。

ただし、「虹の掛け橋」に書かれている真理的行為を ^{けなげ} 健気に実践している人たちは、「人霊・惑星霊・恒星霊たち」との通信期間はとても短く、あっという間に、（霊界の）銀河霊たちと、さらには宇宙霊たちと通信可能になります。その理由をご説明いたしますが、その前に、彼の場合はどうだったのかをお話しいたします。

「第 5 巻 第 45 章 1 復活 その 1」で、

＊ 1

O ところで、ネイム先生以外の神仏の教えに出合ったのは？

私 34 歳の秋です。

O ネイム先生と通信を開始したのは？

私 修行をはじめてから ^{ちょうど} 丁度 1 年後（35 歳の秋）です。

○ では、^{はくごんりつ}白金律を悟ったのは？

私 40歳の秋です。

* 1

と書かれているように、彼の場合は、何度も命の綱（彼にとって最も大切なもので、周りの人が必要とするもの）を譲り続けて体力を使い切って倒れる（実践）修行、イコール、地上で再生（輪廻転生）を繰り返す修行によって、修行開始から1年後に宇宙霊であるネイム霊と通信可能になっています。つまり彼の場合、「人霊・惑星霊・恒星霊・銀河霊たち」との通信は1年間で卒業し、宇宙霊たちと通信可能になっています。

そこから先、つまり第一霊界は、彼以外入ったことのない世界・境地ですから、宇宙霊→第一霊（白金律を思い出すまで）の霊格・霊力向上に5年を要します。

ここで、彼が6年間で、ウイルスレベルの霊格から第一霊格に^{たど}辿り着けた、実践修行内容＝^{せきごんりつ}赤金律～^{しごんりつ}紫金律を確認しておきます。

【赤金律】

世のため人のために積んできた徳分は、自分のために使うのではなく、最後まで世のため人のために使う。

^{とうごんりつ}【橙金律】

1000^り里の道は1000里辿り着いて道半ば＝第一霊格に辿り着いて道半ばであると考ええる。

^{おうごんりつ}【黄金律】

愛と知恵と勇氣と希望からなる善想念で心を満たし考え行動する。

【^{りよくごんりつ}緑金律】

聖なるものから最も遠い存在にも愛を注ぎ、彼らに生き甲斐^{がい}と言う命を付与^{ふよ}する。

【^{せいごんりつ}青金律】

対極に存在する要素にも目を向ける。

【^{らんごんりつ}藍金律】

選り好みせず、すべてのものに見返りを求めぬ無上の愛を注ぐ。

【紫金律】

「小さい人、弱い人、不幸な人」が、「大きい人、強い人、幸せな人」に、「大きい方、好ましい方、楽な方」を譲る。

です。

これらの「^{ごんりつ}金律＝平和と調和と秩序を^{もたら}齎すルール・実践項目」が皆様に示されている訳ですから、体力を使い切って倒れるほどの、地上で輪廻転生を繰り返す実践を行う必要はなく、余暇を楽しみながら、飽和点を超えない持続可能な上記「金律」を^{もほう}模倣した実践で、皆様は、速^{すみ}やかに霊界の銀河霊や宇宙霊たちと通信可能になります。

さらに補足しますと、初代第一霊は、2代目以降の第一霊が地上に降誕した際、初代第一霊ほど^{かこく}過酷な実践修行をする必要がないようにと願いながら完成度の高い「虹の掛け橋」を残そうとしています。2代目第一霊の主人格となるネイム霊も、3代目以降の第一霊が地上に降誕した際、初代と2代目第一霊ほど過酷な実践修行をする必要がないように、さらに完成度の高い「虹の掛け橋」を残したいと言って

います。

つまり、我々が3代目第一霊となって、地上に降誕した際、初代と2代目第一霊が残した「虹の掛け橋」を、霊界の宇宙霊たちが、送信してくれますので、我々3代目第一霊の実践修行は、かなり緩和^{かんわ}されます。

それで、霊界の全銀河霊の総意ですが、我々3代目第一霊が地上で書き上げる「虹の掛け橋」には、初代は「犬搔^{いぬか}き名人」孝ちゃんで、2代目はネイム霊が主人格の「ニャン、にゃん、ニャーン」第一霊で、我々は3代目第一霊であることを明記したいと考えておりますので、地上の銀河霊である皆様も、ご了解くださるようお願いいたします。

Q13 銀河霊界大学院博士課程最高難度クラス（以下「最高難度クラス」）の定員は何名ですか？

A13

シルバーバーチとバーバネル これも、私たちがお答えいたします。

「最高難度クラス」の受講資格を持った銀河霊の数はとても多く、定員数は設けられていません。ではどのくらい多いのかと言うと、1000億の数十万倍の霊体数です。なぜ、これほど多いのかを説明してゆきます。

まず、「類魂」形成の基本ルールからお話しします。

生命体は、地上時代に経験した意識を携^{たずさ}えて「類魂」と言う同一意識体に戻ってゆきます。そして、霊界で、あるいは来世（＝地上で）、善行によって霊格（霊力）が向上してくると、「類魂」も少しずつ分離しながらより近い霊格を持つもの同士が集まる新たな「類魂」

を形成するようになります。

五霊のように銀河霊として最高レベルに向上した霊体＝「最高難度クラス」の受講資格者たちは、今までの類魂から分離して、彼らが1000億ほど集まった、1つの最高難度クラス銀河霊団（＝最高難度クラス類魂霊団＝【赤金律～紫金律】で、毎日膨大な善行を实践する霊（体集）団：以下、「最高銀河霊団」）を形成します。

2025年3月22日現在、このような最高銀河霊団は、数十万（霊団）存在します。

そして、「最高難度クラス」の講義は毎日、数十名の宇宙霊たちによって（数十講義）開催されています。各講義には、各最高銀河霊団から代表1名が受講しますので、各講義の受講者数は数十万霊体になります。受講者は受講後、霊団に戻り全類魂に内容を伝達し、類魂内で知識を共有します。そして各最高銀河霊団が銀河霊として学ぶべきことが尽きると、それぞれ1人の宇宙霊に進化するのです。

最高銀河霊団が現在主に学んでいるのは、（物質界の）宇宙の創造方法、特に、「第6巻 Q10 に対する A10」で述べた、

- ② 巨大隕石落下。
- ③ 不定期に起こる磁場の反転と、これに伴って降り注ぐ宇宙線。
- ④ 太陽の膨張による地球の高温化。
- ⑤ 2億5千万年後の巨大大陸（アメイジア大陸）の形成による、地殻変動と異常気象。
- ⑥ アンドロメダ銀河と天の川銀河の衝突合体。

などの難局を乗り越える方法です。

そこで、宇宙霊たちから解決方法を学んだ^{のち}後、恒星霊たちから情報を収集して、②～⑥の局面に立つ惑星を探し出し、手分けしてそこに降誕し、実践しております。この解決方法を見出す^{みいだ}ことに貢献^{こうけん}した最高銀河霊団は、銀河霊として学ぶべきことが終了したと認められ、次々と宇宙霊に進化しております。

このような頼^{たの}もしい最高銀河霊団の銀河霊たちによって、2025年3月22日現在、②～⑥の問題の解決方法は、かなりのレベルまで確立されつつあります。

ですから、地上の皆様が霊界の我々銀河霊と通信可能になったならば、これらの確立された解決方法を受信できます。

そして、これらの解決方法が、地上の銀河霊たちによって数億年掛けて実践で活かされ、その成果が記録として残されます。

やがて、我々銀河霊が、地上で学ぶべきことが尽きると、現在の恒星霊が銀河霊に進化した、いわゆる若き銀河霊たちに地球の未来^{ゆた}を委ねることになります。

若き銀河霊たちは、先人の銀河霊たちが残した記録書を活用し、上記②～⑥の難局に立ち向かうことになります。やがて若き銀河霊たちが地上で学ぶべきことが尽き、かつ、記録書をより完成度の高い内容に修正した後、現在の惑星霊が恒星霊→銀河霊に進化した、次の若き銀河霊たちに地球の未来を委ねることになります。

このように、地球は、未来の銀河霊たちの修行の場となり、②～⑥の解決方法が確立した無限角形的記録書が完成し、この記録書が宇宙の全惑星に配布されると、地球は、銀河霊たちの修行道場としての役目^おを終えます。

私 最後に補足したいことが2つございます。

1つ目は、ここまで読まれた皆様が疑問に思うのは、「銀河霊の中で

最初に宇宙霊に進化するの、五霊や天女さんたちではないの？」と言うことです。

確かに、彼らが、銀河霊の中で最高レベルに進化しておりますので、最初に宇宙霊に進化する資格があります。ですが、彼らは、「絶対時計が100年を^{きざ}刻むまで、地上人類たちの給職当番と給食当番の役目が終了するまで宇宙霊界には入らず、銀河霊界に^{とど}留まる（わ）。」と言っているのです。

2つ目は、皆様はご自分がどの程度の霊体なのか気づいていない（目^さ覚めていない）ようですが、「虹の掛け橋」はイコール「最高難度クラス」の講義内容です。これを読まれ、かつ、理解できて、かつ、【赤金律～紫金律】を実践しようと努めている方（以下、単に「皆様」）は、「この講義を受講する資格あり」と認められているということなのです。

ですから、このような皆様は、宇宙霊界に入れる権利を放棄して、銀河霊界に留まり、かつ、迷える地上人類（＝いつまでも悟れず敵対するものたちと殺し合っている銀河霊）を救済するため、私と同時代に地上に降誕している、これが実相の姿です。

ネイム そのとおりなのです。つまり、五霊と天女さんたちのそれぞれの最高銀河霊団は、絶対時計が100年を刻み、地上人類たちの給職当番と給食当番の役目が終了すると、いずれも速やかに宇宙霊に進化します。

同じように、「虹の掛け橋」を読まれ、かつ、理解できて、かつ、【赤金律～紫金律】を実践しようと努めている方々は、「虹の掛け橋」が世に広まる切っ掛け^きを作った功績^{こうせき}が高く評価され、地上での修行を終えて、本来の住处^{すみか}であるそれぞれの最高銀河霊団に戻ると、速やかに宇宙霊に進化します。



美しい景色

shutterstock_604039928

そして、五霊や天女さんたちが進化した宇宙霊たちとともに、皆様は若き宇宙霊として、^{たかちゃん}第一霊や先輩の宇宙霊たちから指導を受けながら、全霊体の幸せを考慮しつつ、平和と調和と秩序を守るため、物質界の宇宙に存在する銀河や恒星や惑星たちや、銀河霊以下

の生命体（霊体）の、進化の^{けいりん}経綸を^{とうそつ}統率する仕事に携わる生活をスタートさせることになります。

ただし、孝ちゃんとカラオケに行ったり、私や^{あみだ}阿弥陀君や^{えんま}閻魔君やゼウス君と美しい景色の中でお^え絵描きしたり、^{だれ}誰かさんと^{さんず}三途の川や^{あま}天の川で^{いぬか}犬掻きしたり、と言った余暇を楽しみながら。

Q14 「第 6 巻 第 52 章 Q1 に対する A1」で、

「銀河霊の輪廻転生・再生のサイクルは、2 億年に 1 度です。」

と書かれています。

と、なると 2 億年間で、類魂内の 1000 億の全銀河霊が地上に降誕することになります。なので、 $(1000 \text{ 億 (人)} \div 2 \text{ 億 (年)}) = 500 \text{ 人 / 年}$ ですから、常時 500 人（銀河霊体）ほどが地上に降誕して人間的姿で過ごすことになります。

1000 億の 2 乗数の全銀河霊体で観ると、常時（500 霊体×1000 億銀河霊団＝）50 兆もの膨大な霊体が地上で過ごすことになります。

これらの、霊体が全員地球で過ごすことはできません。となると、彼らはどの惑星で過ごすのでしょうか？

A14

シルバーバーチとバーバネル これも、私たちがお答えいたします。

質問者がおっしゃるとおり、地球に降誕する銀河霊はほんの一部で、大部分は、恒星霊界の惑星に降誕します。

同様に、恒星霊の大部分は惑星霊界の惑星に、惑星霊の大部分は人霊界の惑星に、人霊の大部分は動物に、動物霊の大部分は植物に、植物霊の大部分は細菌類に、細菌類の大部分は物質に、物質の大部分は想念の姿で降誕するのです。

それは、なぜか？

銀河霊は、恒星霊たちが速やかに銀河霊に進化できるように、恒星霊は、惑星霊たちが速やかに恒星霊に進化できるように、・・・、物質は、想念たちが速やかに物質に進化できるように、です。

つまり、自己犠牲の精神で、下の階層へ降誕するのです。

皆様は、この話を聞かれて「そんな馬鹿な！」と思うかも知れませんが事実なのです。

では、皆様に納得していただけるよう細心の注意を払いながら説明します。

霊体の本来の^{すみか}住処は、霊界なのです。地上世界は仮の住まいで、かつ、修行の道場です。

たとえば、銀河霊にとって、銀河霊界で過ごす期間は 2 億年であるのに対して、恒星霊界での地上（惑星での）生活は 150 年ほどの短期間です。

・・・（恒星霊と惑星霊の地上生活については省略）・・・

人霊が動物の姿で降誕するときは、地上の人間にとって^{ゆうえき}有益な動物、ハッキリ申しあげますと、ペットのワンちゃんや、ニャンちゃんや、小鳥や、・・・や、^{もうどうけん}盲導犬や、サンタクロースのソリを引くトナカイで、^{じゅみょう}寿命は数年です（人霊の霊界での生活期間は 200 年ほど）。

動物霊が植物の姿で降誕するときは、動物たちに有益な植物で、寿命は1年未満です（動物霊の霊界での生活期間は100年ほど）。

植物霊が細菌類の姿で降誕するときは、植物霊以上の霊格霊体に有益な細菌類で、細菌類の姿で過ごす期間は、数日ほどです（植物霊の霊界での生活期間は100年ほど）。

細菌霊が物質の姿で降誕するときは、細菌類以上の霊格霊体に有益な物質（水や空気等）で、物質の姿で過ごす期間は、数年です（細菌霊の霊界での生活期間は100年ほど）。

物質霊が想念の形で降誕するとき、全霊体に有益な善想念で、想念の形で過ごす期間は、数年です（物質霊の霊界での生活期間は100年ほど）。

下層界へ降誕した銀河霊や恒星霊や惑星霊は、国王や独裁者の人生を歩むことはなく、苦学と努力と自己犠牲の道を歩み、その惑星に住む全霊体の幸せと平和のために貢献する健気な人生を送ります。

このように、霊界も物質界の宇宙も、多くの霊体たちの自己犠牲＝愛の善想念によって、暖かく包まれている世界なのです。

多くの銀河霊は、本来、迷える地上人類（＝いつまでも悟れず敵対するものたちと殺し合っている銀河霊）を救済するために＝自己犠牲の精神で、地球に降誕したのですが、この目的を忘れ、「第6巻 第52章 Q7に対するA7」に、

*2

「第21章 1 まんじゅうを分かち合う」に登場する、Y、D、Xさんのように、（銀河）霊界では、衰弱したGさんを優しく介護するほど心清らかでも、地上に降誕し、耐え切れないほどの空腹感を覚えたと、まんじゅうを1個手元に引き寄せて（≡犯罪に走って）

しまいます。しかも、霊界と輪廻転生・再生の存在や、正しい真理と摂理の働きを知らないため、1度切りの人生だから、できるだけ謳歌しようと考えて、「領土や食料やお金がもっと欲しい」と叫んで争ってしまいます。

* 2

と、書かれているように、「ミイラ取りがミイラになる」形で、自分自身も、「敵対するものたちと殺し合う人生」を歩んでしまい、善良な銀河霊たちが、血と汗と涙を流しながら創った、道路や橋や建物を空爆などで破壊してしまっているのです。

また、恒星霊界の地上（＝惑星）世界は、現在の地上（＝地球）人類の1000億の2乗倍の霊格者・霊力者が住む惑星ですから、恒星霊界の惑星に降誕した銀河霊たちが、1000億の2乗数の全銀河霊の主な徳分を生み出しており、逆に、地球に降誕した銀河霊たちが、戦争で殺し合う形で、全銀河霊の徳分を著しく損失させているのです。

ですから、地上（＝地球）の銀河霊の皆様が、地球に降誕した本来の目的に目覚めてくださることを願いながら、当該質問に対する回答は以上とします。

Q15 「霊訓」と「虹の掛け橋」には、「地球は修行の道場としては下から2番目に低い霊格の集まるところ」と紹介されていますが、これが事実だとしたならば、最も低い霊格の集まるところとは、どのような惑星・世界なのでしょうか？

A15

シルバーバーチとバーバネル これも、私たちがお答えいたします。

地球は銀河霊たちが降誕する修行道場ですが、人霊界の地上人間

（つまり、言語と道具と火を使える生命体）の霊格と比較すると、現在の地球の地上人類は、全宇宙の中で、下から 2 番目に低い霊格です。

では、なぜそうになっているのか？

創造主である第一霊の指示で、宇宙霊たちが、宇宙の全生命体の進化の経緯^{けいりん}を統率している結果、そうになっているのです。

霊界と宇宙の全生命体は基本的に、自身がとった行為の報い、善因善果悪因悪果（＝褒美^{ほうび}と福德^{ふくとく}、と天罰）は自身で受けるのが基本です。

しかし、銀河霊たちは、1000 億の 2 乗数全員（の総意・契約）で、褒美と福德を分かち合い、そして罪を償^{つぐな}い合っています。

理由は、「虹の掛け橋」の複数個所で説明されているとおりです。

なお、恒星霊界では、銀河霊界を手本にする考えが主流ですから、基本的に、褒美と福德を分かち合い、そして罪を償い合っている惑星が大部分です。

一方、惑星霊界と人霊界は、天罰は己自身で速やかに受けるため、たとえば、他の生命体に苦しみを与えると、同等の苦しみが直ぐ自身に返ってくるため、全生命体が、弱者をいじめることも、領土問題で争うこともありませんので、鋭い牙^{すど}や爪^{きば}を持った生命体も存在しませんし、戦争等による絶滅の心配もなく、かつ、犯罪が抑止^{よくし}されて、平和で調和と秩序が形成された世界です。

そして、人霊が宿って間もない、今は、最も霊格の低い若き人霊たちの惑星であっても、あつと言う間に現在の地球の地上人類の霊格を越えてゆきます。

このように、次々に生まれる若き人霊たちの惑星は、一時的に最下位の霊格者たちの惑星であっても、あつと言う間に地球の地上人類の霊格を越えてゆくことになります。

しかし、惑星霊界と人霊界は、自己責任と自力解決の意識が強く、困った人がいても、その人自身の修行課題であると捉え、基本的に「捨て置き」の世界です。つまり、自己犠牲の精神が希薄な世界なので、なかなか恒星霊に進化できないのです。

これに対して、地球は、銀河霊^{から}→宇宙霊→第一霊に進化するための物質界での最後の修行道場です。

第一霊の指示で、全生命体の進化の経緯を統率する宇宙霊たちは、人類の霊界通信力を粗方奪ったうえで、地球上に鋭い牙や爪を持った生命体（や体内に毒素を持つ細菌類や植物類や魚類や昆虫類や爬虫類）を配し、地上人類に、これらの生命体と戦う感情、つまり敵対意識を植え付け、彼らと戦うための武器（刃物や銃^{はもの}など）を与えました。

やがて、彼らを征服^{せいふく}し、コントロールできるようになると、人類同士で戦い始めるようになりました。

人類は、他の生命体を傷つけても、命を奪っても、天罰である報いを、霊界の銀河霊たちが背負ってくれるため、罪の報いを受ける摂理の働きの存在に気づけず、敵対するものたちと殺し合いを続ける、現在の地上世界が形成されることになったのです。

このような敵対意識をどこまでも助長^{じょちょう}させてゆくと、やがて核戦争による人類絶滅の未来が待っていることに気づいた、賢明な銀河霊たちによって、「敵対意識を愛と共存の精神に変えてゆかなければならない」と言う、真理的思考が人類に芽生え始めてきます。

しかし、人類全員で知恵を出し合っても、領土問題等の争いをなかなか解決できずに苦しんでいる状況を観た第一霊は、自ら地上に降誕し、「虹の掛け橋」を書き、その中で、『「小さい人、弱い人、不幸な人」が、「大きい人、強い人、幸せな人」に、「大きい方、好ましい方、楽な方を譲る」と言う紫金律^{しごんりつ}を、地上人類全員で実践しなければ

領土問題は絶対に解決できないように、宇宙を創造したのです。』

と、今、まさに、説いている訳です。

第一^{たかちゃん}霊は、全霊体の自由意思を尊重しますので、どのような未来を選択するのか、つまり、敵対するものたちを抹殺^{まつさつ}するまで戦い続ける核戦争による絶滅の未来を選択するのか、許し合い・助け合う・平和的共存の未来を選択するのかは、人類の皆様の自由意思に委ね^{ゆだ}られています。

彼は、皆様が高度に進化した殺戮兵器^{さつりくへいき}を用いた戦争によって絶滅することがないように、理由・説明を付しながら、肅々^{しゆくしゆく}と真理の道「虹の掛け橋」に書き示すだけですから、戦争を行う者たちを地上から排除する霊力を行使することはありません。それはなぜか？ もし、この霊力を行使したならば、敵対するものを排除・抹殺しようとする人類と同じ方法（＝反真理的方法）を選択したことになるからです。反真理的方法を用いると、反真理的（＝秩序が崩壊^{ほうかい}した）世界が自動的に創造されてしまうのです。

それに、反真理的方法を取ることなく問題を解決できる霊力を身につけなければ、第一霊（創造主）にはなれないのです。

彼は、戦争を行っている者たちを排除する反真理的方法を取るのではなく、【赤金律～紫金律】と言う、美しい「金律^{ごんりつ}（真理）」の精神＝未来の第一霊（創造主）になるために身につけるべき資質^{ししつ}を皆様に伝授すると言う、真理的方法を取っているのです。

なぜなら、これらの真理的行為の実践を全霊体を選択することによって、真理的（＝平和で平等で調和と秩序のとれた）世界が創造されるからです。

それに、彼が目指す美しい成就点^{じょうじゅてん}の世界は、「己の過去の姿は（癌細胞やウイルスや）サタンのような罪深い生命体であったことを正し

く認識できる謙虚な者たちで満ち、この者たちが天使の如く振る舞う世界」ですから、今は全宇宙で2番目に低い霊格者・霊力者たちが集まる地球でも、皆様が、銀河霊であることに目覚め、そして彼からすべての真理と摂理の働きを学び、可能な限り真理的世界に身を置き、かつ、真理的行動を健気に実践しようと努めていれば、地上世界は、全宇宙で最も霊格・霊力が高い霊体が住む地上天国になると信じます。

回答は以上ですが、最後に一言。

我々霊界の全銀河霊の総意ですが、初代と、2代目第一霊の主人格となるネイム霊を見習って、私たちの前では全霊体が安心して寛げる、ペットのような癒し効果が提供できる、「ワン、わん、ワァー」3代目第一霊を目指したいと考えていますので、地上の銀河霊である皆様もご了解くださるようお願いいたします。

Q16 霊界はどこにあるのでしょうか？

A16

シルバーバーチとバーバネル これも、私たちがお答えいたします。

霊界は、第一霊界、宇宙霊界、・・・・・・、想念界まで、それぞれの界層は繋がっているものの、霊体は、その霊格・霊力に応じた界層以下の世界にしか入ることができませんから、何人も上位の界層の様子を観ることはできません。

そして、各霊界の場所については、第一霊の指示で、たとえ霊界通信可能な者に対しても、地上の生命体には、絶対に明かさないことになっています。

それは、どうしてなのか？ 理由を説明してゆきます。

皆様のよう地上の銀河霊（以下、「代表選手を、善半分悪半分の人生を送った A さん」とします）には、A さんが地上時代に、どのような心の紋様で過ごし、どのような行動を取り、その結果、周囲の生命体に、どのような感情を抱かせたのか、DVD のような映像として、記録している者がいます。

これは、A さんの死後の霊界の行き先と、来世どのような姿・能力・財産で過ごすことになるのか（正確には、A さんが犯した罪を償うために A さんに代わって地上で修行することになった類魂銀河霊たちが、どのような姿・能力・財産で過ごすことになるのか）、本人を含めた全霊体が納得できる決定を、担当宇宙霊が^{くだ}下すためです。

記録の^{にん}任についているのは、A さんの弟子に当たる 1 名の（B）恒星霊です。そして、1 名の類魂銀河霊、あるいは、霊格が非常に高い銀河霊（＝【赤金律～紫金律】を健気に実践している者）には、1 名の指導的宇宙霊が守護霊としてついていますが、話を単純化するため、守護霊としてつくのは、1 名の（C）銀河霊として話を進めます。

なお、B 恒星霊は数年で、C 銀河霊は数十年で担当者が変わります。

A さんが地上での修行 or 生活を終え、死を^{むか}迎えると、肉体・^{ゆう}幽体・霊体の 3 層からなる^{からだ}身体は、肉体が地上世界に留まる形で、幽体・霊体の 2 層が分離し、幽体霊として目覚めます。

A さんは、幽界や霊界がどこにあるのか知らないため、C 銀河霊と B 恒星霊が A さんを幽界に連れてゆきます。幽界に入った A さんは、第一霊と宇宙霊たちが放射している愛と知恵と勇気と希望の善想念からなる^{あたた}暖かな光（のエネルギー）に迎えられ、このエネルギーを吸収しながら、幽界での生活をスタートさせることになります。

では、どのような生活を始めるのか？

(⑩ 子供の年齢で亡くなった人は、大人になるまでに身につけるべき品格と資質を幽界の幼稚園「さくら組」で学ぶことになります。)

① D 指導宇宙霊の元で、地上時代 A さんが、どのような心の紋様で過ごし、どのような行動を取り、その結果、周囲の生命体に、どのような感情を抱かせたのか、が記録された DVD を見ながら、取るべき行動は何だったのかなどを、真理と摂理の働きを通して学びます。

② 幽界入りして間もない銀河霊たち（以下「新入生」）が集められ、E 指導宇宙霊の元で、共同生活がスタートします。

③ まず、

❶ 全生命体の幽体と霊体の活動エネルギーを生み出しているのは、第一霊と宇宙霊たちが霊界と宇宙に放射している、愛と知恵と勇気と希望の善想念からなるエネルギーであること。

❷ 全生命体は未来の創造主（第一霊）になるために、螺旋状の心の修行の階段を登っていること。

❸ 効果的な心の修行は、【赤金律～紫金律】の反復実践であること。

❹ 銀河霊たちは、罪を償い合う契約で結ばれているため、A さんが犯した罪の報い（天罰）を、霊界の銀河霊たちが代わりに受けていたこと。

などを学びます。ときどきカラオケを歌ったり、お絵描きしたり、犬掻きしたりと言った、余暇の時間を取りながら。

ちなみに、幽界と霊界には、遊園地も、公園も、美術館も、図書館

も、映画館も、コンサート会場も、ダンスホールも、演劇場も、落語や漫才やコントの会場も、・・・・・・・・もあって、しかも地上世界より遥かに充実（上層界ほど内容が進化）していますので、幽界と霊界での生活を楽しみにしててください。それと、これらの施設は、霊界で最初に生まれ、その後、幽界→地上世界の順に波及していったのです。これ、霊界通信可能者には常識です。

なお、霊界と幽界の娯楽映画や演劇等には、必ず霊格の向上を促す要素が含まれていますので、霊界→幽界→地上、に齎された映画や演劇等には、これらの要素が必ず含まれている筈で、かつ、必ずヒットしています。（だから、霊界通信力を身につけると生活が豊かになります。ただし、見返り（お金等）を求めると、お尻ペンペンされたうえ、霊界通信力は没収されます。・・・・・・・・キビシーィ！）

それと、参考までに、霊界でも酸素濃度測定器を作れますが、作っても、地上では機能しないのです。それは、霊界、幽界、地上世界では、波動が違うからです。上記で述べた娯楽施設等も霊界と幽界では機能しても、地上世界では機能しません。だから、作り方等を（幽界と）地上世界に伝達したのです。受信可能な地上の銀河霊の意識に働き掛ける形で。

④ 【赤金律～紫金律】が実践できるかどうか、新入生同士の共同生活の様々な場面で求められ、これらの善行（＝真理的行為）の実践によって、地上時代に犯した罪が、Aさん自身によっても償われます。

⑤ 罪が概ね償い終えた者から順に霊界入りが許され、幽体を脱いで霊体の姿になり、三途の川を飛んで or 犬掻きで、銀河霊界に入っ
てゆきます。

⑥ Aさんは、1000億の類魂と合流し、銀河霊界での生活をスタートさせます。

このような流れで、Aさんは死後、幽界→霊界に入ってゆくのですが、Aさんが地上時代に、「第4巻 第35章 1 第一真理・摂理と完全死」に書かれているような、

* 3

①聖人を暗殺したり、②罪なき民を苦しめたり、③罪を犯しながら自首することなく逃げ切ったり、④法廷で偽証^{ほうていぎしやう}したり、⑤人類の滅亡時期を予言したり、と言った、平和と調和と秩序を壊し、後世・良い子たちに著しい悪影響を残した者たち等、彼の怒りに触れた者たち

* 3

あるいは、「虹の掛け橋」を書いている彼の手を長時間止めた者であった場合、幽界・霊界入りが許されず、地上に残され、やがて活動エネルギーが尽きて、宇宙の塵^{ちり}と化す運命を辿^{たど}ることになります。

このため、自力では、幽界と霊界に入れないように、これらがどこにあるのかは、地上の生命体には、明かされていないのです。

最後に補足しますと、宇宙の塵と化した者たちであっても、「第6巻 第50章 1 宇宙の塵と化した者たちのその後^ごについて」に書かれている経緯^{けいい}を辿って、犯した罪の程度によりますが、銀河霊界～想念界のいずれかの世界で復活することができます。

さらに、たとえ完全死した場合であっても、2代目第一霊によって復活させてもらえます。

もし、2代目第一霊の霊力をもってしても、復活できないほどの霊体であっても、我々3代目が必ず復活させて未来の第一霊（創造主）に導きます、ワン、わん、ワァーン。

第 60 章

〇〇君の△△が未熟だと言うのであれば、

〇〇君を超えた△△を作ってからにしてください

Q&A その 8

～Q17 と Q18

Q17 ずばりお尋ねします。あなたは本物の創造主なのですか？

A17

ネイム これは、私がお答えいたします。

これは、「虹の掛け橋」を読まれている、すべての人が抱く疑問・質問です。ですから、ここでは、このような疑問が浮かんだとき、この疑問とどのように向き合った良いのか、正しい対処方法^{たいしよ}は何か、取ってはならない行動^{たず}はなにか、を中心にご説明いたします。

「虹の掛け橋」には、この疑問に対する答えとなる文言^{もんごん}が随所^{ずいしょ}に登場します。それらを、まず確認しましょう。

① 「第 6 巻 第 44 章」に、

* 1

ノア ところで、この章の先生は女心を良く理解されているようですが、著者は「第 23 章」で「女心とチューの仕方がわからないお馬鹿さん」と描写^{びようしゃ}されています。著者と先生の関係あるいは違いはどうなっているのですか？

第一霊 著者は、地上の姿・現実・人間・女心とチューの仕方がわからないお馬鹿さんで、私は、霊界の姿・理想・無限角形的霊体・女心（＝卵子の心≡「♥♥♥♥の歌」の歌心^{うたごころ}）と男心（＝精子の

心) とチューの仕方を理解したお利口さんです。

＊ 1

と。

② 「第 4 巻 第 34 章 1 「虹の掛け橋」が吟味^{ぎん み}されるときが成就^{じょうじゅ}点^{てん}へのスタート」に、

＊ 2

ここで注意して置きますが、吟味する対象は「虹の掛け橋」であって彼を吟味してはいけません。

なぜなら、大霊（創造主）は「虹の掛け橋」の中に存在しているからです。

彼にマイクを向けても語りません。それはなぜか？ 語った言葉の影響^{えいさ}が大きいため、1行^{ぎょう}程度の質疑^し応答では済まず、語るとなると「虹の掛け橋」をすべて語る必要があります、言葉では文字の部分^{ぶぶん}を語れないことを知っているから、結局『各自「虹の掛け橋」をすべて読んで考え、答えを観付けてください』となるのです。

＊ 2

と。

③ 「第 4 巻 第 37 章 2 「完全死」したものたちが宇宙^{うちゅう}の礎^{いしづえ}となる」に、

＊ 3

私は霊界と宇宙を創造したとき、調和と秩序を形成するため 200 ほどの根幹^{こんかんでき}的真理（以下単に「真理」）と、この真理を守りかつ成就させるために自動^{じどう}的で完璧^{かんぺき}に働く摂理を配しました。「第 1～4 巻」までに 150 ほどの真理を示しました。残りは 50 ほどです。これらについては、「第 5～7 巻」で述べることにします。7 巻すべて揃^{そろ}ったとき、創造したときの設計図・真理^{ぜんりょう}の全容を友たちは目にできます。

＊ 3

と。

④ 「第 4 巻 第 34 章 6 大霊となつてからの世界」に、

* 4

彼は「虹の掛け橋」の中に永遠に存在し続けます。

そして「虹の掛け橋」に「創造主＝始原的第一霊たち」が^{ないざい}内在しているのです。

* 4

と。

上記①～④に、

① 地上世界での彼は、あくまでも人間で、霊界と宇宙と生命体を創造する、創造主としての霊力を持っていないこと。

② 霊界に戻ると、無限角形的霊体の創造主としての霊力を取り戻すことができること。

③ 「虹の掛け橋」の中に霊界と宇宙の設計図になる真理が書かれていること。

④ 創造主（初代～^{げんざい}n 第目の創造主）は、「虹の掛け橋」の中に存在していること。

などが書かれています。

つまり、地上世界で人間の姿をしている彼は、霊界と宇宙と生命体を創造する霊力を失っているため、皆様に、これらを創って見せることができません。しかし、これらの設計図となる真理の姿が書かれている「虹の掛け橋」を、宇宙霊である我々が読めば、どのようにして、これらが創造されたのか想像できるのです。このような設計図を示せる方は創造主だけです。それに、我々宇宙霊は、宇宙の第 2 回創造時に立ち会っていますので、「彼は本物の創造主、しかも初代第一霊（創造主）です」と、はっきり言えるのです。

しかし、皆様は、彼が実際に創造した場面を、見ておりませんので、私たち宇宙霊が本物だと言っても、確信できないと思います。

そこで、彼の霊力の偉大さに触れている箇所がありますので、次はそれを確認しましょう。

「虹の掛け橋」には、彼が創造した公案（や物語）の一部が紹介されています。

たとえば、

- 5円玉の図柄の意味。
 - 太平洋のすべての水をコップに注ぎ入れる。
 - 一瞬の中に無限の時間を入れる。
 - 達磨大師が語った「無功德」と「廓然無聖」と「不識」の理由。
 - 南泉和尚、猫を斬る。
 - 「ぶどう園の労働者」のたとえ。
 - 桜の花が美しい理由。
 - 「罪」や「毒」や「悪」の文字に吹き込まれた神仏の教え。
 - まんじゅうの理想的な分割方法
- などです。

これらの公案について、

- ⑤ 「第4巻 第33章 5 公案の接し方」に、

* 5

2つ目の疑問は「彼の公案の難問さ」についてです。

皆様が辿り着いた答えが、彼や我々銀河霊団の解説内容まで踏み込んだレベルであったならば、それは驚くべきことです。

前述したように私は、今でこそ彼の公案を解くことができますが、地上時代の霊格レベルで振り返ったとき、1問も解くことはできませんでした。ここだけの話ですが、実は五霊も同じです。

ですから、皆様の中で全問正解者が存在することは考えにくいです。
しかも彼の公案の答えは、無限角形的視点では1つであり、かつ、
読めば極めて簡単明瞭で誰もが納得できるのです。

* 5

と。

⑥ 「第4巻 第32章 3 「霊訓」と「虹の掛け橋」の相違点を
観る」に、

* 6

現時点では皆様には、彼が大霊であるとは信じられなくとも、ここ
まで読んで、聖なるものから最も遠い存在にまで愛に満ちた想念を放
射していることから少しは彼の偉大さを感じ取ってください。

* 6

と。

⑦ 「第3巻 第26章 2 桜の花」に、

* 7

ここまで読まれても、彼を受け入れられない方に、釈尊から彼が創
造した公案を出していただきます。

もし、人類レベルでは手も足も出ないこの公案を、完璧（^{かんぺき}釈尊レベ
ル）に正解されるほどの驚くべき超高級な霊格者・霊力者の中で「彼
は大霊ではない。自分は彼よりももっと素晴らしい公案を、天地を動
かして創造できる」と、そうおっしゃられる方がおられたら、どうぞ
我々霊団に向かって、その念を送信してください。

我々は、彼を幾重（^{いくえ}）にも取り囲んでいる無数の魂たちに道を開かせ、
その方を我々1000億の銀河霊が総出でお迎えし、彼に代わる我々の
最高指導霊として、その御座（^{みざ}）へご案内いたします。

* 7

と。

上記⑤～⑦で語られているのは、

⑤ 公案の素晴らしさと、聖なるものから最も遠い存在にまで愛に満ちた想念を放射していることから、彼の霊力の偉大さを感じ取ってください、と、言うこと。

⑥ 「彼は創造主ではない」と、主張するのであれば、まず、彼を超える公案を、天地を動かして創って、そして、宇宙霊たちや、霊界の銀河霊たちを唸らせる・感動させる法を説いてからにしてください、と、言うこと。ひらたく言うと、『モーツァルト君やヴェートーベン君の音楽（曲）を、「未熟だ」と、言うのであれば、彼らを超えた曲を作ってからにしてください』と、言うこと。

です。

ですから、彼にマイクを向けて、「あなたは本物の創造主ですか？」と尋ねるのではなく、各自、【赤金律～紫金律】を健気に実践して、霊格が向上したうえで、彼の創造した公案や物語等を通して、彼が本物かどうか、多くの人たちと協議して判断すべきであると考えます。

最後に補足すると、彼が本物であるかどうかよりも、彼の教え＝「虹の掛け橋」によって、各自の霊格・霊力が向上し、幸せな人生を歩めたかどうか、あるいは世の中が、今までよりも平和で平等で調和と秩序がとれた社会になったかが、重要であると思います。

Q18 2代目以降も地上に降誕する第一霊は、「中島 孝」で日本に生まれる男性なのですか？

A18

ネイム これも、まず、私がお答えいたします。

2代目第一霊となる我々宇宙霊全員で協議して、日本に生まれる男性「中島 孝」として人生を歩むことに決めております。

ただし、たくさんの子どもを産み育てる、夫婦の奮闘^{ふんとう}する姿を通して悟り成長してゆく内容で「虹の掛け橋」を構成させる予定です。

そして、初代の孝ちゃんも「願いが叶うよう知恵を出します」と言ってくれています。

次に、3代目第一霊を目指す、霊界の銀河霊たちの考えを聞いてみましょう。

霊界の銀河霊たち 概ね^{おおむ}2つの意見があります。

1つ目は、「文字」以外のものに神仏の教えを吹き込んで、霊界と輪廻転生の存在を知っていただく内容で、「虹の掛け橋」を構成させたいという意見です。この場合、日本以外の国に生まれますので、名前も全く別になります。そして、結婚は絶対に絶対に絶対にしたいという意見が主流です。

2つ目は、天女さんたちの強い要望ですが、1つ目の意見に加え、とても美しく健康的で、かつ知的で性格の良い女性として生まれ過ぎたいという意見です。

これらは、2025年3月31日時点の意見で、まだ決定しておりませんので、皆様が全員、銀河霊界に戻ってきてから、皆様の意見も聞いたうえで決めたいと考えています。

そして、犬掻^{いぬ か}き名人も、ニャン、にゃん、ニャーン2代目も、「知恵を出して協力します」と言ってくれています。

私 最後に、私から一言。

地上に降誕した第一霊は、借金^{しゃっきん}すること、衣食住^{いしょくじゅう}に困ることもありませんが、仕事をして入ってくる給料のほとんどを、「虹の掛け

橋」の^{じ ひ しゅつばん ひ}自費出版費と^{ぼ きん}募金に回す人生ですから、^{ぜいたく}贅沢な生活を送ることは期待しないでください。

なぜなら、貯金の額が増えてくると、宇宙霊たちから、お尻ペンペンされたうえ、霊界通信力が没収され、「虹の掛け橋」を書き進めることができなくなりますので（キビシーィ！）。

このように、1000億の宇宙霊が団結すると、地上の第一霊の霊力を^{はる}遥かに^{うわまわ}上回るようです。この方が、私としては、^{ぼうそう}暴走しないし生活が乱れることもないので安心です。そもそも、地上に降誕した第一霊が暴走したら、世の中、^{めちやくちや}滅茶苦茶になりますからね。

余談ですが、本が売れたら、次のような料理を食べてみたいです。



フランス料理

shutterstock_599528033



イタリア料理

shutterstock_1439927900



中華料理

shutterstock_2151996963



デザート

shutterstock_517915906

ネイム 願いが^{かな}叶うと良いね。

私 協力してね。

ネイム 人類の皆様^{かんしょう}の自由意思に干渉したくないので、あっかんべーです。

私 があーん。

ネイム でも。実は・・・・・・・・。

私 でも？ 実は？

ネイム 孝ちゃんが霊界に戻って来てから 10 億年かけてやろうとしていた作業、宇宙霊と霊界の銀河霊と恒星霊たちで、これまでに書かれた「虹の掛け橋」を、地球以外の全惑星の人間的全生命体の言語に^{ほんやく}翻訳して、無料で配布させていただきましたので、ご了承ください。

私 そうだったの？

ネイム はい。

私 私に^{いんぜい}印税は入らないの？

ネイム 「虹の掛け橋」は著作権^{ちよさくけん}なしですから、印税もなしです。

私 があーん。・・・・・・・・、では、霊界に戻ってから、私、やることあるの？

ネイム ああ、それなーあ。「ペッツバンド」のボーカルとして、全霊界と全惑星を旅して^{まわ}廻るのはどうでしょう？

私 ^い良いね。良いね。その日が楽しみです。

ネイム それは^よ良かった。私たちも楽しみです。

ネイム 人類の皆様、参考までに、「虹の掛け橋」の翻訳本を受け取った人間的全霊体が、創造主の^{じきひつぽん}直筆本だと見抜きましたよ。そして、2025 年 3 月 31 日現在、「虹の掛け橋」のシリーズを手にしていないのは、全宇宙の中で地上人類（約 80 億人）と、もう 1 つの惑星の住

人だけになってしまいました。

でも、そんなことは「ドンマイ」です。

なぜなら、世界各地で、高度に進化した殺戮兵器^{さつりくへいき}を用いた戦争によって住居や橋や道路やライフラインが無残^{むざん}に破壊され、膨れ上がった復興^{ふっこう}予算と軍事費によって、巨大地震や大水害や大干ばつの復興や、福祉や教育等に十分予算が回せなくなる状況が続き、地上は治安が極端に悪化した地獄と化すため、「戦争（≡領土問題等）による殺し合いと破壊は、もうやだー」と言う人たちによって、「虹の掛け橋」シリーズが少しずつ広まって→ やがて 少しずつ地上天国が形成され → → 地球が全宇宙の中で最も霊格・霊力が高い住人・霊体の住む惑星に変わるからです。

ウイルスレベルの霊体で降誕した孝ちゃんが、「虹の掛け橋」の教え（＝赤～紫・白金律の実践）で、第一霊（宇宙一の霊力者・霊格者）に変わったように。

私 でも、「戦争による殺し合いと破壊は、もうやだー」と言う人たちが「虹の掛け橋」を手にとらなかったら？

ネイム 人類全員の協力と努力と英知だけでは、解決困難（＝絶滅する）かも。

私とネイム そうなんても、「ドンマイ」です。なぜなら、絶滅しても、「第6巻」で述べたとおり、皆様には、「恒星霊たち」（場合によっては^{プラス}「惑星霊たち」）と協力して1人の3代目第一霊を目指す道が用意されていることと、皆様には1兆の1兆乗年よりも長い寿命が保障されておりますので。

でも、絶滅したとき、（神仏たちから絶滅を回避する方法が示され

ていたにも拘^{かか}わらず) 皆様自身が絶滅を回避するために努力しなかったとしたら、その後悔は数兆年経^たっても消えないかも。

霊界の銀河霊たち そのとおりですよ。

だから、そろそろ傍観^{ぼうかんしゃ}者の自分とは決別^{けつべつ}しませんか？

つまり、「虹の掛け橋」を世に広めて「虹の掛け橋」(＝創造主)にすべての戦争(＝絶滅)を止めてもらうのです。

なぜなら、戦争(＝絶滅)を回避する無限角形的方法は、これしかないのですから。

(特に) 戦死者たち そうです。戦争はもういやなのです。だからどうか皆様の手で「虹の掛け橋」を世に広めて戦争を止めてください。

宇宙霊と霊界の銀河霊たち 「虹の掛け橋」が世に広まれば、戦争だけでなく、犯罪も、いじめも、独裁体制も、悪しき迷信や風習も、環境破壊も止まります。しかも、皆様の霊格・霊力・知能・運動能力・治癒力・霊界通信力は飛躍^{ひやくてき}的に向上します。

そして、「虹の掛け橋」が世に広がることに貢献^{こうけん}した人たちは、善行を実践したこととイコールですから、己と類魂たちの罪が許され、己も類魂たちも、霊界での生活と来世は天国です。

ただし、国や地域によっては、迫害^{はくがい}や妨害^{ぼうがい}を受けるかも知れませんので、無理はしないで実践してください。

第 61 章

軍事力に頼らない恒久的な平和が確立されると信じます

1 補足説明 その 3

～試行錯誤前進が最速で、

かつ、最も高く登れることもあるのです

① 心を磨くための修行の 1 つと考えると募金（善行）をしたり、天国に入りたいから募金したりしては、募金は長続きしないものです。確かに、これらの思考は、募金を始める切っ掛けになるのは事実です。

「第 4 巻」でバーバネル君は次のように語っています。

* 1

我々銀河霊は、まず、すべてのものに愛を注ぐ実践を始めます。これは己の霊格を向上させる目的を持ったものですが、次第に目的意識は薄れ、飢えている人、寝る場所もない人、病に苦しんでいる人、救いを求めている人がいるから愛の手を差し伸べるのだと、自然に体が動くようになります。

* 1

と。

このように、「飢えている人、寝る場所もない人、病に苦しんでいる人、救いを求めている人がいるから愛の手を差し伸べるのだと、自然に体が動くようになる募金（善行）」が本物だと思います。

同様に、「恒星霊界大学院博士課程最高難度クラスで講義をする」のは、自身が大霊に進化するための修行課題だと考えているうちは、有意義な講義はできないものです。ここも、「銀河霊に進化したい（＝もっと高い霊格者・霊力者になりたい）」と考えている恒星霊たち

に、自分が持っている霊力をすべて伝授するのだと、自然に口が動くようになる講義」が本物だと思います。

下線部の思考・実践は応用範囲が広いと思います。

② 1日で健康体を作ることはできない。だから、幼稚園生の頃から、健康を意識して、規則正しい生活と適度な運動と休息を心掛けよう。

同じように、1日で膨大な徳を積むことはできない。だから、幼稚園生の頃から、徳積み（＝善行の実践）をスタートさせよう。そうすれば、二十歳の頃には、とても健康で、かつ、徳の高い人間になっていることでしょう。

でもねえ、周囲の人たちに溶け込むためには、人間臭さ（喜怒哀楽と欲望）が多少ないとねえ。

霊界の銀河霊たち だから？

私 うーん。・・・・・・、試行錯誤しながら進んで行ってください。

霊界の銀河霊たち あははは。アバウトだなーあ。

私 試行錯誤前進が最速で、かつ、最も高く登れることもあるのです。

霊界の銀河霊たち うーん。納得です。

③ 正義（＝正しいと強く確信しているため譲れない価値観）と正義

がぶつかると、どちらも譲らないからとても悲惨^{ひさん}な結果を生む。

だから、価値観は、人（＝国、地域、民族、宗教、性別、年齢等）によって異なることを知り、理解し合うことを学び・実践しよう。

④ 「虹の掛け橋」の普及^{ふきゅう}によって戦争による絶滅の危機^{かいひ}が回避できたとき、「雨降って地固まる」の諺^{ことわざ}のように、軍事力に頼らない恒久的な平和が確立されると信じます。

⑤ 「第2巻 第12章 7 病気の苦しみから逃^{のが}れたい」で、

* 2

Wさんは仏の言葉を信じ、周囲の人たちから屈辱^{くつじよくてき}的な仕打ちを受けても、どんな苦難に出合っても、常にやさしい心を保つよう努めました。痛みから時々顔を顰^{しか}めてしまうこともありましたが、すぐに仏の言葉を思い出して、笑顔に戻しました。

神仏の目から観て、病気を一生背負って味わう苦しみに匹敵^{ひってき}する、血と涙の苦難に耐える修行でした。

3年が経過しました。Wさんはとても柔和^{にゅうわ}な顔に変わっていました。仏の目と心を得て、すべての苦しみから逃^{すべ}れる術を身につけたのです。そして気が付いたら病気が治っていました。

* 2

と、語っているように、病気を一生背負って味わう苦しみに匹敵^{ひってき}する、血と涙の苦難に耐える修行（＝善行）を実践しないと病気が治らないように、戦争を止めるには、続けることによって起こる悲惨^{ひさん}な苦しみ・損失^{そんしつ}・犠牲^{ぎせい}に匹敵する、苦しみ・損失（領土：住む場所を失うなど）・犠牲（漁業権・資源の採掘権^{さいくつ}を失うなど）を双方^{そうほう}が負う強い覚悟が必要になります。

このため、贅沢^{ぜいたく}三昧^{さんまい}者^{しや}たちが真理に目覚め、お金や生活物資を必要

とする人たちに配る世の中に、かつ、贅沢三昧者たちの集団である反真理的体制が平和的に解消された世の中に変わる必要があります。

これらはイコール、すべての人たちが真理に目覚める必要があると言うことです。

しかし、想像して欲しいのです。戦争がいつまでも続く世界と、終わった世界を。

今の皆様は霊界通信力がほぼゼロの状態ですから、霊界（天国と地獄）と輪廻転生^{りんねてんしょう}の存在に確信が持てないと思いますが、「第 6 巻 はじめに」で、

* 3

第 5 巻までにお示したように、私は、霊界にいたとき、ネーム君（宇宙霊）たちと、五霊を始めとする銀河霊たち（皆様を含む）と、愛と知恵と勇氣と希望の善想念を注ぎ、そして崇高^{すうこう}な（？）神仏の教えを吹き込んだ、次のような文字や言葉を創造し、人類の意識層へ働き掛ける霊力を行使して、地上へ届けました。ただし、この霊力は、霊界にいたとき、地上でこれを受信することを誓った銀河霊に対してのみ、最大級の注意を払い、かつ各霊体の自由意志を尊重しながら行使しました。

（途中、省略）

理由は、この世界（霊界と地上世界）は、神仏たちが司^{つかさど}って（統率^{とうそつ}して）いる実相の姿と、（死後の）霊界（天国と地獄）と輪廻転生・再生の法則・存在を信じていただきたいと考えたからです。

* 3

と、語っているように、霊界と輪廻転生は存在しているのです。

しかも、命を付与された霊体（＝皆様）は肉体が滅んでも霊として永遠に（1 兆の 1 兆乗年以上）生き続ける（命が保障されている）のです。

1 兆の 1 兆乗年、敵と認識した者たちと殺し合う世界（＝地獄）で輪廻転生を繰り返すか、それとも互いに譲り合い助け合って生きる世界（＝天国）で輪廻転生を繰り返すか、冷静になって判断していただきたいと思います。

ネイム 皆様に考えていただきたいのです。もし、地上の人間が、戦争（＝戦争による絶滅）を止める霊力（≡話術）を持っていたならば、第一霊（創造主）が地上に降誕する必要はないと思いませんか？

つまり、地上人類全員で協力し英知を結集しても戦争を止めることができないから、第一霊自ら降誕したのだと。

五霊と天女たち そのとおりですわ。

2 Q&A その 9

～Q19

Q19 「第 3 巻 第 30 章 1 ひび割れた水瓶（後段）」に、

＊ 4

彼は、すべての要素（たとえば、天使の中の天使の優しさ・温^{ぬく}もり～サタンの中のサタンの厳しさ・冷酷^{れいこく}さまでの霊性）を持っている。

＊ 4

と、書かれています。

一方、「虹の掛け橋の」の複数個所で、彼が目指す理想の創造主像は、

＊ 5

全霊体に対して優しく、そして親切で、彼の前では全霊体が寛^{くつろ}げる存在になろうとしている。

* 5

と、書かれています。

両者は、矛盾しているのではないのでしょうか？

A19

ネイム これも、私がお答えいたします。

まず、理解していただきたいのは、「虹の掛け橋」の複数個所で語られていることですが、彼の実相の姿は、霊界にいるときと地上に降誕しているときとは、違うということです。

霊界にいるとき、つまり、地上に降誕する前と、地上でなすべきことを終えて霊界に戻ってきたとき、彼は、善因善果、悪因悪果の摂理の働きの統率者の一人となります。

具体的な事例でお話ししますと、A 国の B さんが地上時代、C さんに空爆を命じて、隣国の、10 万人の命を奪い、10 万人の顔に大火傷を負わせ、10 万人の手足の機能を奪い、10 万人を失明させ、1000 万軒の家を壊した。そして、この B さんと C さんの行為を支持した A 国民 1 億人がいたとします。

この場合、B さんと、C さんと、1 億の A 国民と、彼らの類魂である、1000 億の 2 乗数の全銀河霊が、霊界と来世（地上）、どのような生活を送ることになるのかを決定する者の一人が、彼であるということです。

ですから、彼は、ある人（地上の銀河霊、以下同じ）にとっては、戦争を止め平和を齎^{もたら}してくれる天使に見え、ある人にとっては、厳しく冷酷な裁判官（≡閻魔^{えんま}大王）に見えということです。

一方、地上に降誕している彼は、数学も英語もバタフライも苦手^{にがて}で、人の心の中を覗く^{のぞ}霊力も、上記の善因善果、悪因悪果の摂理の働きを統率する霊力もありません。

彼は、^{さんず}三途の川での犬掻きと、霊界通信力がちょっぴり人より^{すぐ}優れているだけで、これらの霊力を使って、真理と摂理の働きを「虹の掛け橋」に書いているだけです。

かつ、地上に降誕している彼に対して、皆様が恐怖を^{おぼ}覚えることがないように、彼は、すべての霊体に優しく、親切に接して、彼の前では、全霊体が寛げる存在になろうとしているのです。

最後に補足しますと、皆様は、確かに 1000 億の 2 乗数の銀河霊の一人です。ですが、皆様が地上時代、戦争（＝空爆など）を止める^やよう多くの人々に呼びかけたにも関わらず、当該戦争行為の報いを受ける、たとえば、顔に大火傷を負って生活する来世を送ることになるとしたら、戦争を止めるよう呼びかける（勇）気が^な萎えてしまいます。そうすると、地上世界に平和が訪れるのが遠のいてしまいます。

ですから、戦争を止めるよう呼びかけた人たちは、当該戦争行為の罪の報いを受ける対象者からは除外されることになります。

このように、「虹の掛け橋」を読んで真理的行為を健気に実践している人は、霊界での生活も来世も豊かになります。

回答は以上です。

霊界の銀河霊たち ネイム先生、ちょっと待った！

ネイム え！ なに？

霊界の銀河霊たち 地上の銀河霊たちに伝えたいことがあります。

ネイム では、自由にどうぞ。

霊界の銀河霊たち 私たちは、今すぐにでも、皆様に代わって地上に降誕したいくらいです。なぜなら、地上に降誕して「戦争（空爆）」を止めるよう呼びかけたならば、当該戦争行為の罪の報いを受けなくなる、つまり、顔に大火傷を負って生活する来世を送ることがなくなるからです。

だから、皆様に強く言いたいことは、地上に降誕している今、「皆様には、そのチャンスが巡^{めぐ}ってきている」と言うことです。このことはイコール、殺されたり、顔に大火傷を負ったり、手足を切断したり、失明したり、家を失ったりするなどの恐怖から解放される、と言うことなのです。

私 2つほど補足したいことがあります。

1つ目は、皆様自身、あるいは、家族、親族、知人、友人の中で、殺されたり、顔に大火傷を負ったり、手足を切断したり、失明したり、家を失ったりした方がおられたら、その方（＝輝かしい前世を歩まれた結果、銀河霊の地位を獲得・維持され、銀河霊たちの地上に降誕された方）は、他の銀河霊（＝真理と摂理の働きに関する知識の乏しい、原始時代から現代まで、地上で、戦争による殺人・略奪^{りやくだつ}・強姦^{かん}・破壊と、詐欺^{さぎ}やいじめなどの罪を犯した類魂）の代わりに苦難を味わっているのです。

2つ目は、「戦争（空爆）を止めるよう呼びかける行為」は、殺されたり（≡投獄^{とうごく}されたり）、顔に大火傷を負ったり、手足を切断したり、失明したり、家を失ったりすることと同等の苦しみを伴います。



天国（楽園）への入口

shutterstock_2320349657

しかし、勇気を出して「戦争（空爆）を止めるよう呼びかけた」者には、膨大な福德が齎^{もたら}され、霊界と来世（地上生活）は、楽園で過ごすことができます。

同様に、勇気を出して「独裁体制や、国王制などの廃止を呼びかけた」者にも、膨大な福德が齎されま

す。

このように、平和で平等で調和と秩序のとれた世界を形成するために勇気を出して（＝自己犠牲の精神で）貢献した者でなければ、天国（楽園＝最高銀河霊団→宇宙霊界）には入れないのです。

ただし、ここだけの話ですが、皆で叫べばハードルは下がるし、皆で仲良く天国（楽園）に入れます。

でも注意点が1つ。それは、その時期を待っているとなかなか来ないで、先に皆様の寿命が尽きて、傍観者（＝霊格が人霊レベルの非友たち）が辿る、当該戦争行為の罪の報いを受ける悲惨な来世を歩むことになるかも知れない、ということです。

ネイムと霊界の銀河霊たち そうそう、そのとおりです。良いこと言うよなー！ 犬掻き名人は。

私 やっと褒めていただけたようです。気分が良いところで、回答は以上とします。

第 62 章

天使たちは、真理的行為を健氣^{けなげ}に実践している
貧しき努力家に対してのみ、干渉（アドバイス）できる

Q&A その 10

～Q20 と Q21

Q20 「第 7 巻 Q16 に対する A16」で、

私たちには、「1 名の類魂銀河霊が、守護霊としてついている」
と、書かれています。この守護霊は、私たちが災難^あに遭わないよ
う、守ってくれているのですか？

A20

ネイム これも、私がお答えいたします。

皆様についている類魂銀河霊は、皆様を守ってくれているのです
が、皆様がイメージする守護^{しかた}の仕方とは異なります。では、どのよう
に守護しているのかご説明いたします。

なお、皆様には、少しショッキングと思える内容が含まれていますが、
真実ですので耐えて聞いてください。

霊界の全霊体が守らなければならないことは、「地上の霊体の自由
意思に干渉してはならない」と言うことです。これは、第一霊からの
強い指示なのです。たとえ、皆様（A さん）に危害^{きがい}を加えようとして
いる者（B さん）がいても、その行為に干渉することは許されていな
いのです。理由は、「虹の掛け橋」の複数個所に書かれているよう
に、A さんを守ろうとして、B さんを排除・抹殺^{はいじょ まっさつ}する方法を取るの
は、敵対するものを排除・抹殺しようとする人類と同じ方法（＝反真

理的方法)を選択したことになるからです。反真理的方法を用いると、反真理的(=秩序が崩壊した)世界が自動的に創造されてしまうからです。

それに加えて、皆様(=輝かしい前世を歩まれた結果、銀河霊の地位を獲得・維持され、銀河霊たちの地上に降誕された皆様)は、他の銀河霊(=真理と摂理の働きに関する知識の乏しい、原始時代から現代まで、地上で、戦争による殺人・略奪・強姦・破壊と、詐欺やいじめなどの罪を犯した類魂)の代わりに苦難を味わう使命を背負っているため、この当該報いによって、殺害されたり、略奪されたり、強姦されたり、家を失ったり、詐欺にあったり、いじめに遭ったりしても、守護霊である類魂銀河霊(以下「守護霊」)は、加害者にも被害者である皆様にも、干渉できないのです。

では、守護霊は、皆様に何も働き掛けないのかと言うと、そうではありません。皆様の良心・仏性・神性に、「善行をたくさん実践することによって、当該報いを回避できますよ。」と語り掛けているのです。しかし、この声を聴きとれるようになるには、皆様自身の霊格・霊力を守護霊と同じ銀河霊レベルに向上させる必要があります。

でも、ほとんどの方は、銀河霊レベルの霊格に到達していませんから、聴くことはできません。

このため、彼が地上に降誕して、これらの真実を「虹の掛け橋」に書いて、皆様に示している訳です。

ここからは、皆様の霊格が向上して、守護霊の声を聴くことができてからの話をいたします。

守護霊は皆様に次(①～③)のように語り掛けてくる筈です。

① 良くここまで心の修行に努め、霊格を向上させましたね。私は、ずーっとあなたの傍にいて見守っていたのです。

- ② 善行をさらに実践することによって、当該報いを回避できます。
- ③ 効果的な実践方法は、たとえばあなたが、「小さい人、弱い人、不幸な人」であっても、「大きい人、強い人、幸せな人」に、「大きい方、好ましい方、楽な方を譲る」と言う、^{し こんりつ}紫金律の実践です。

と。

そして、皆様の身に危険が^{せま}迫ると、正しい方向へ導いてくれます。でも、守護霊にも限界があります。

それは、善行をたくさん積んでいる皆様に、守護霊が守れないほどの巨大な悪想念の^{かたまり}塊が近づいて来たとき、^{ふせ}防げないのです。

皆様に納得していただけるよう、具体例をお示しすると、

- ❶ アダム君とイヴさんの息子であるアベル君が、兄のカイン君に殺されたケース。
 - ❷ ソクラテス君が毒殺刑に処せられたケース。
 - ❸ イエス君が十字架刑に処せられたケース。
 - ❹ ジャンヌさんが^{か けい}火刑に処せられたケース。
 - ❺ リンカーン君が暗殺されたケース。
 - ❻ ガンディー君が暗殺されたケース。
- など、です。

最後にお話しして置きたいことが2つございます。

1つ目は、類魂たちが過去に地上で犯した罪の報いを代わりに背負う形で、殺害されたり、略奪されたり、強姦されたり、家を失ったり、詐欺にあったり、いじめに^あ遭ったりした人たちも、❶アベル君から❻ガンディー君のような人たちも、地上時代に^{おう か}謳歌できなかった「人生の喜び」を、「^う埋め合わせの原理」の働きによって、霊界で、思う存分謳歌できます。

また、これは慰^{なぐさ}めにはならないかも知れませんが、皆様には、1兆の1兆乗年よりも長い人生が待っていますので、やがて、このタイムスケールで捉^{とら}えることができ、地上時代に起きた悲劇が、少しずつ薄らいでゆくことを願っております。

2つ目は、「第4巻 第35章 1 第一真理・摂理と完全死」に、

＊1

彼を吟味^{ぎんみ}しようとする者が、彼の顔写真を撮^とろうと言う悪想念^{いた}を抱き彼に近づこうとすると、彼によって救われたものたちにより阻止^{そし}されます。

途中で怪我^{けが}をしたり、病気になったり、乗っている物が故障したり、渋滞に巻き込まれたりして、決して彼には近づけないよう「第一摂理」の働きを担^{にな}う形でこのものたちが介入するからです。

＊1

と書かれています。

つまり、彼を取り囲む霊界のものたちは、彼に近づこうとする者（＝地上の者）に怪我を負わせたり、病気にさせたりする形で、干渉することがあります。

それはなぜか？

理由は、彼を崇拜^{すうはい}の対象とする者・物・ものたちが、「地上の者たちに干渉してはならない」と言う彼の指示を無視して、この者たちに、怪我を負わせたり、病気にさせたりする形で、己の自由意思を行使して、干渉するからです。

と、言うことで、何が言いたいかと言いますと、『彼に近づき、「虹の掛け橋」を書いている彼の手を止めようとする、彼を崇拜の対象とする者・物・ものたちによって干渉されるので危険です。』と言うことです。

Q21 「第 7 巻 Q20 に対する A20」に、

* 2

「地上の霊体の自由意思に干渉してはならない」と言うことです。これは、第一霊からの強い指示なのです。たとえ、皆様（A さん）に危害を加えようとしている者（B さん）がいても、その行為に干渉することは許されていないのです。理由は、「虹の掛け橋」の複数個所に書かれているように、A さんを守ろうとして、B さんを排除・抹殺（はいじょ まっさつ）する方法を取るのは、敵対するものを排除・抹殺しようとする人類と同じ方法（＝反真理的方法）を選択したことになるからです。反真理的方法を用いると、反真理的（＝秩序が崩壊（ほうかい）した）世界が自動的に創造されてしまうからです。

* 2

と書かれています、

『第 4 巻 第 32 章 3 「霊訓」と「虹の掛け橋」の相違点を観る』には、

* 3

彼は、すべての霊体到大霊の資質を持たせるために必要とあらば、言葉（文字）、硬貨の図柄、映画、神仏の教え、公案等々、様々なことに働きかける形で干渉・直接関与（せつがい）する、とてもお節介な霊体です。

* 3

と書かれています。

と言うことは、地上の霊体に干渉しても許されるケースがあると解釈してよろしいのでしょうか？ もし、そうだとしたら、どのようなケースであれば許されるのでしょうか？

A21 「地上の霊体の自由意思に干渉してはならない」、これが基本

ですが、真理的方法を用いて、地上世界に平和と平等と調和と秩序と希望を^{もたら}すことになる^{うなが}干渉であり、かつ、当該干渉を受けた者・物・ものたちの霊格向上を促すものであれば許されます。



天使の干渉（アドバイス）

shutterstock 776299441

ただし、これを行使するには、条件（**①**～**④**）があります。

① 干渉を受ける地球の地上人類は銀河霊であるため、この者たちに干渉できるのは、霊界の銀河霊以上の霊体であること。

② 干渉を行使する場合は、指導霊的立場の宇宙霊の助言を受けながら行うこと。

③ 真理的行為を^{けなげ}健気に実践している貧しき努力家に対してのみ、干渉（アドバイス）できること。

④ 当該干渉が「おんぶにだっこ^{がた}型」の過保護的・過剰な守護・干渉になっていないかどうか、干渉後の経過を観察すること。＝干渉を受けた者が、超幸福感に包まれ→^{まんしん}慢心となり→道を^{あやま}誤ることにならないように見守ること。＝干渉の^{ちから}力加減を調整すること。＝必要最小限の干渉に^{とど}留めること。

です。

私 「第7巻」で語るべきことは尽きた感がいたしますので、皆様が「紫金律等」の実践によって、高度に進化した^{さつりくへいき}殺戮兵器を用いた戦争による絶滅を、^{かいひ}回避し、軍事力に頼らない^{こうきゅうてき}恒久的な平和が地上に^{もたら}齎されることを祈りつつ筆を止めます。